

三春町教育委員会 事務点検・評価報告書 (令和3年度対象)

令和5年1月

三春町教育委員会

目 次

I 点検及び評価書

・ 総括評価	1 ～ 6
・ 教育課 教育総務グループ	7 ～ 10
・ 教育課 学校教育グループ	11 ～ 16
・ 生涯学習課 生涯学習グループ	17 ～ 19
・ 生涯学習課 社会体育グループ	20 ～ 22
・ 生涯学習課 歴史民俗資料館	23 ～ 25
・ 生涯学習課 町民図書館	26 ～ 30
・ 生涯学習課 児童生活センター	31 ～ 33

II 事務報告書

・ 教育課 教育総務グループ	1 ～ 10
・ 教育課 学校教育グループ	11 ～ 13
・ 生涯学習課 生涯学習グループ	14 ～ 30
・ 生涯学習課 社会体育グループ	31 ～ 35
・ 生涯学習課 歴史民俗資料館	36 ～ 41
・ 生涯学習課 町民図書館	42 ～ 52
・ 生涯学習課 児童生活センター	53 ～ 59

I 点検及び評価書

令和３年度 三春町教育委員会事務点検及び評価

【総括評価】

令和３年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策が日常的に優先され、学校教育関係者・生涯学習関係者のご尽力に敬意を表します。

また、令和３年度は、「三春町第１期教育大綱」の初年度となります。各施策の展開において、成果指標にコロナの影響が色濃く及んでいるが、強い使命感で取り組む意欲が示され、概ね達成されていると評価します。

以下に基本施策ごとにコメントさせていただきます。

基本理念：学び、つながり、未来を拓く三春町の教育創造

基本目標：子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり（教育課）

基本施策：夢を支える環境づくり（教育総務グループ）

１）学校運営協議会が設置されて１０年間継続されたことを評価します。ここ２年間は、コロナ感染症防止対策のため、地域住民が学校行事に参加できていないことから、地域住民と学校との隔たりを感じます。地域住民が学校行事に復活できる条件の検討をお願いします。

２）ＧＩＧＡスクール構想で、各種ツール・授業ノウハウが蓄積されましたが、まだ、オンライン授業実施の妨げがあるようです。いかなる事態にも備えて、オンライン授業の早期実現をお願いします。

３）県、警察、町、学校、地域による通学路合同点検が実施されたことを評価します。児童生徒の交通事故の痛ましいニュースが絶えません。事故事例から新たな視点での通学路合同点検の継続実施をお願いします。

基本施策：夢が育つ学校教育の推進（学校教育グループ）

１）学校教育アドバイザー事業が本格実施２年目を迎えました。授業研究の実施回数が１６回計画され１５回実施されました。過去の授業研究の実施回数は、令和元年度１回、令和２年度９回実施され、累計でみると２５回の授業研究が積み重ねられてきました。その成果と解釈できるデータとして教職員の意識に変化があらわれました。

・授業研究を通じて授業方法の検討・改善を確実にしている教師の割合

令和元年度 67.9%、令和2年度 54.2%、令和3年度 100%

・教職員としての資質や指導力の向上に進んでいる教師の割合

令和元年度 57.6%、令和2年度 52.34%、令和3年度 100%

また、教職員の意識の変化から児童生徒との信頼関係が構築されたデータとして

・全国学習状況調査において、「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合

令和元年度 小4 7.4%・中2 2.9%、令和2年度 調査なし、

令和3年度 小7 9.0%・中8 1.2%

児童生徒の自己肯定感が大幅に上昇しました。この結果は、学校教育アドバイザー事業の顕著な成果と解釈します。引き続き、本事業を着実に実践され更なる成果を期待します。

2) コロナ感染症の影響から、全国と同様三春町も不登校児童生徒が増加傾向にあります。対象児童生徒家族に対するSC・SSWの対応件数が高く、その充実体制を評価します。また、翌年度適応指導教室等が新設され、徐々に成果が上っており、対象児童生徒家族への寄り添い事業の更なる推進を期待します。

基本目標：全員参加型の生涯学習ネットワークの構築（生涯学習課）

基本施策：学び続け活躍できる社会の実現をめざす「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」（生涯学習グループ）

「まほら」活用の音楽イベントはコロナ感染症のリスクが心配されるが、運営方法の見直しやコロナ対策の徹底で「まほらミュージックプロジェクトの開催」「三春交流館運営協会と連携した芸術鑑賞教室の実施」等は、コロナ禍で落ち込んだ人々の心に癒しのひと時をもたらしたであろうと評価します。

基本施策：スポーツを通じた「健幸」なひとづくり（社会体育グループ）

オープンイベント大会、さくら湖マラソン大会・みずウオーク三春大会は、昨年に引き続き中止されました。しかし、コロナ感染症防止対策の徹底や運営方法の見直しで町民ソフトボール交流大会等が開催されました。スポーツ活動の再開推進の取り組みを評価します。

基本施策：文化遺産の伝承 歴史と文化のまちづくり（歴史民俗資料館）

適切な文化財の修繕維持管理、三春の歴史的偉人の節目の企画展示、三春城のVR計画支援と地道な活動を評価します。

基本施策：本に親しみ、学びがあふれる「みんなの図書館」（町民図書館）

平日の開館時間を19時まで1時間延長、役場桜ホールに図書館出張コーナー設置、利用者の求めに応じた親切丁寧な対応等、よりベストを目指した活動を評価します。

基本施策：保護者・地域・学校が一体となって推進する子供の健全育成（児童生活センター）

核家族社会の定着から児童の放課後安全・安心の居場所作りは、子育て世代親の最重要な砦となっています。子育て支援サービスのより良い運営を目指して、支援員・ボランティア員の増強、活動の中身充実、居場所時間の拡大等取り組みを高く評価します。

外部評価者 渡辺 勉

令和3年度重点施策の事業を推進するにあたり、感染予防を実施しながらの目標達成は、昨年度に引き続き、難しい状況だと推察されました。

前例のない事態で、事業の実施の判断をするのに大変苦慮したことが思いやられます。そのような中で実施したことをふまえて、下記に教育課と生涯学習課の評価を報告いたします。

教育課

●教育総務グループ

夢を支える環境づくりの実践の中で、地域の教育力を深めるために、学校運営協議会の協力を得ることにあわせて、生涯学習課の作成した人材バンクを活用すれば、幅広い地域の人材と出会える機会になり、コミュニティスクールの充実に役立つことが期待されると考えます。

児童生徒の安全・安心な環境づくりにおいては、学校、地域住民、警察などが連携して、児童生徒の見守りの協力があることで、安心安全が守られていると考えます。また生徒が、見守ってくれている人たちに挨拶をしていく姿は素晴らしいと思います。

●学校教育グループ

夢が育つ学校教育の推進の中で、確かな学力・生きる力の育成において、学校教育アドバイザー事業を実施したことは、昨年に続いて積極的な取り組みだと思えます。子どもの学びに学ぶ教師を目指し、働き方改革を推進することで、子どもと共にある時間の確保をすることを期待します。

GIGAスクールを目指し子どもに1台のタブレットで情報共有することは、これからの時代に必要不可欠なことと考えます。

夢を育む豊かな心の育成において、三春町への郷土愛の育成、キャリア教育の充実で生き方学習に大いに役立ったと考えます。

特別支援教育の推進で、インクルーシブ教育システムの方向性が見えてきたことに期待しますが、特別支援教育に関心を持ち、知識、技能を持つ人材の確保が一番大事なことと考えます。様々な支援があり応援が考えられますが、学びの場の保障も大切です。いじめ対策も早急に対処が必要と考えられます。

これからのGIGAスクール構想では、「人は人によって育てられる」という言葉が薄れていくのではと不安を覚えます。タブレットは学習支援のツールで

すが、使い方は今後の課題になっていくと考えられます。家庭環境の差で教育の差とならないことを願います。

体験も必要、遊びも必要、いろいろなことを学び、我慢する心、思いやりがなければかなど身をもって知るチャンスに恵まれることを期待します。

生涯学習課

●生涯学習グループ

学びへの参加のきっかけづくりの推進において、新型コロナウイルス感染症の影響のため、感染症対策を講じ、施設の提供を実施したことは、適切だったと思います。研修会、文化祭の開催など規模を縮小しながらの実施は、コロナ感染症で落ち込みがちになっている人たちに、学びの楽しさを伝えたと思います。また、施設を利用した人たちに、机、椅子などの備品の消毒をお願いしたことは感染症対策の学びの一環となったと思います。

多様な団体との連携と協働の推進においては、三春町交流館運営協議会と連携した芸術鑑賞教室、三春町国際交流協会と連携した国際交流事業、三春ダムと連携した環境フォーラムの開催を感染症の影響で内容を変更しながら開催したことについて、住民に生涯学び続ける楽しさを提供したと考えます。今後の人材ガイドブックの登録者が増えていくことを期待します。

●社会体育グループ

スポーツ活動再開の支援のため、感染症対策を講じて、町民ソフトボール交流大会を開催したこと、トレッキング、ニュースポーツ・レクリエーション、町民スキー教室の開催など、今後もスポーツに親しむ機会や町民の健康づくり、またスポーツが嫌いな人にもスポーツを楽しむきっかけ作りになったと考えます。

●歴史民俗資料館

文化遺産の伝承 歴史と文化のまちづくりについて、文化財の保存・公開施設の管理運営の中で、特に画期的だったのは、「三春たてもの探検2021」の企画でした。文化財、歴史民俗資料館を地元の人たちに知らせるいい機会だったと思います。また、展示会・各種講座・広報活動の充実において、秋に開催される町の文化祭に参加したことは、啓蒙活動に大変役立ったと思います。

●町民図書館

本に親しみ、学びがあふれる「みんなの図書館」を目的として、利用者のため

に開館時間を延長したことは、前向きな取り組みで素晴らしいと思います。今後もいろいろな人たちの状況を把握し、利用者に親しまれる町民図書館になっていくことを期待します。

学校との連携・学習支援においても、幼・保・小・中・高校との連携、特に高校生による紙芝居などの読み聞かせは、活動のステップアップになったと思います。

●児童生活センター

放課後子ども総合プランの放課後児童健全育成事業においては、年間を通して、いろいろな事業を開催していることで、子どもの情操教育がしっかりしたものになっていると考えます。また、児童支援員が積極的に資格取得をしたことは、児童生徒のことを考えた活動をするために効果があったと考えます。

まほらっこ教室において、安全安心な居場所づくりのための指導員が集まらないのは課題だと考えます。早急に集める工夫が望まれます。

最後に、生涯学習は、幅の広い学習が求められています。「三春町に生まれて良かった」と思える学習の場を提供することを希望します。生涯学習の目指している学び続けることで、活躍できる社会の実現で、老いも若きも楽しく学びに参加できることを期待します。

外部評価者 降矢 由美子

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

基本施策 夢を支える環境づくり

施策1 地域と歩む学校づくり

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①コミュニティ・スクール推進事業の充実	学校への協力者という視点は確実なものとなった。『学校を核とした地域づくり研修会』に参加し、今後は、学校運営協議会の本来の目標である、地域づくり・学校づくりのための共同経営者という視点を明確にもって実施・充実にあたりたい。					
②地域の教育力を生かした教育活動の推進	これまでの情報を下に、地域の教育資源や人材の発掘に努め、それらを生かした教育活動を展開した。地域と共にある学校づくりの視点からは、それぞれの学校の所在地に関する理解を深める指導が必要と考える。					
③地域住民による教育参加推進	滝桜天然記念物指定100周年を契機に、各校における地域学習のあり方について検討がなされた。地域とも振り合い、地域の理解等、ねらいや視点を明確にした、地域を巻き込んだ教育活動が期待される。					
④地区教育懇談会の開催	令和2年度は全地区で教育懇談会を開催したところであるが、今年度については特に必要と思われる地区において開催を検討していたが、開催には至らなかった。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①小中学校への学習支援ボランティアのべ人数	人	のべ1200	のべ606			
施策の進捗状況						
三春町全校に学校運営協議会が設置され間もなく10年が経過しようとしている。学校に対する地域からの協力体制は整っており、地域の教育資源や人材を活用した教育活動が確実に推進されている。さらには、今後の方向性として、地域と共にある学校づくり、地域に開かれた教育課程づくりの方向性をふまえた上で、学校と地域が、三春町の持続可能な学校・地域づくりに関わる共同経営者としての学校運営協議会の運営が期待される。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策2 夢をかなえるたくましい心身の育成

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①心身共に健康な体の育成と体力の向上	原発事故後の運動制限は解除されたが、現在、新型コロナ対応で運動等の制限がある。外出や人混み等への外出制限によるストレス等から心身への影響が懸念されるため、観察や相談体制に配慮すると共に、SC・SSWの効果的な活用を各校に働きかけている。					
②健康教育の充実と健康に関する自己管理能力の育成	児童生徒自身による自己管理能力の育成という生徒指導上のねらいは健康教育においても同様で、中3への性に関する指導、薬物乱用防止教室、食べる力・感謝の心・郷土愛を育む『食育』においても、そのねらいを自身による自己管理能力の育成にしている。					
③学校給食の充実と「つながる食育」の推進	学校給食の充実のため、地場産物の積極的な活用、備品の購入及び施設の修繕、関係者間での食物アレルギー対応の共有等を行った。 また、各校で栄養教諭及び学校栄養職員を活用した食育指導を実施した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①運動の得意な児童生徒の割合	%	小(男)40 小(女)40 中(男)40 中(女)50	小(男)34.9 小(女)45.6 中(男)42.9 中(女)76.8			
②う歯(むし歯)保有率	%	小35 中30	小46.0 中31.7			
③肥満傾向及び痩身傾向割合	%	肥満 7.0%以下 痩身 1.0%以下	肥満 12.7 痩身 2.3			
施策の進捗状況						
う歯予防のための歯科事業の継続により、う歯保有率については、目標に届かなかったものの減少傾向にある。また、個々の健康課題を知り改善するため、栄養教諭及び学校栄養職員を活用した食育指導を実施したが、コロナ禍における活動量不足等もあり、肥満度については目標に届かなかった。						

外部評価

C

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策3 教育施設の整備

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①子どもの夢を生かした校舎内外環境の工夫	学習指導要領に沿った授業展開をするために必要な教材や備品の整備を図った。					
②施設・設備の計画的な修繕・更新	LED改修工事などを長期修繕計画に位置付けるとともに、中郷小学校外壁改修工事など、老朽箇所や破損箇所の修繕工事を適宜施工し、計画的な整備を図った。					
③学校図書館の充実	新刊図書の購入や町民図書館と連携し、ボランティアによるおはなし会から児童生徒の読書活動の推進、読書習慣化の推進を図った。					
④GIGAスクール構想によるICT環境整備と利活用	ICT支援員による教職員への支援体制を構築し、教育用コンテンツを利用した授業ノウハウを蓄積し、教職員の情報活用能力向上による学習効果の高い授業実現を支援した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①1ヶ月あたりの読書冊数	冊	児童10 生徒 4	児童13.2 生徒 2.0			
②校舎トイレの洋式化率	%	100	85.9			
③校舎等照明施設のLED化率	%	100	12.5			
施策の進捗状況						
長期修繕計画に位置付けられていた修繕工事を実施することで、学校施設の環境改善を図った。また、トイレ洋式化工事及びLED改修工事を長期修繕計画に位置付け、学校施設の長寿命化対策の推進を進めている。						

外部評価

C

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 教育総務グループ

施策4 児童・生徒の安全・安心な環境づくり

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①児童・生徒の防犯対策	県、警察、町、学校、地域による通学路合同点検を実施し、通学路交通安全プログラムの見直すことで、危険個所の情報を共有し、児童生徒の安心・安全の実現を図った。					
②地域・関係機関との連携	まちづくり協会など、通学路の危険個所の共有を図ることで児童生徒の安全な環境づくりを図った。					
③防災教育の推進	火災や地震対応の避難訓練の他、不審者対応の避難訓練も工夫して実施されていた。加えて、新型コロナ下にあっては、感染防止やそれに伴う人権侵害等に配慮した防災教育も実施している。					
④学校における放射線教育の推進	学級活動や総合的な学習の時間、学校行事等の時間を活用し、福島県環境創造センター『コミュタン』の訪問・見学を実施している。中学校においては、道徳の時間で風評被害に立ち向かう姿を学び、理科の『科学技術と人間』単元での放射線教育、学級活動での『安全な生活と自分』単元での放射線教育に取り組んでいる。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
学校運営協議会実施回数	回	28	26			
防災教室等の実施率 (SDGsの学習会も含む)	%	100	100			
施策の進捗状況						
通学路交通安全プログラムの見直しにより、危険個所の情報を再度認識するだけでなく、新たに危険個所の追加及び対策の検討を行った。また、地域や関係機関へ危険個所の情報を共有し、連携を図ることで児童生徒の安全な環境づくりの推進を図った。						

外部評価

A

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

基本施策 夢が育つ学校教育の推進

施策1 夢をささえる確かな学力の育成

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革	学校教育アドバイザー事業を中心に、『授業研究を第一優先に』を念頭に各小・中学校において、『子どもの学びに学ぶ』教師を目指し、授業での子どもの動きや変化を適切に見る目を育てる取組に町内小・中学校が同一歩調で育むべき3つの能力の育成にあたった。					
②児童・生徒一人一人の学びが保障される環境づくり	授業研究の負担を軽減し、頻度を上げ、全ての子どもたちの授業における動きや変化を適切に見極め、対応できる教師を目指した。そのために『働き方改革』を積極的に推進し、子どもと共にある時間の確保により学びの環境づくりに全小・中学校で取り組んだ。					
③ICTを利活用した学びの充実	GIGAスクール構想を活用し、1人1台のタブレットを効果的に用いた、わかりやすい授業展開を実現した。町学校評価アンケートにおいても、『先生の授業はわかりやすい』に全小・中学校とも、90%以上の肯定的評価を受けた。					
④グローバル化する社会に適応するための英語教育の充実	外国語指導助手（ALT）の効果的な活用によって、児童生徒が外国語を通して身につけた技能を活用し、外国語のコミュニケーションによる見方・考え方を発揮して学びを深める学習を推進した。各小学校の英語教育の現状を把握するため、英語教育アドバイザーを派遣し、成果と課題を共有した。					
⑤SDGs理解のための教育活動の推進	教育大綱成果指標にSDGsを掲げ、持続可能な社会・三春町づくりの意識と態度を明確にした。中学校の総合的な学習の時間には、SDGsに関連し“環境問題”や“貧困問題”に関連した調べ学習の展開で、世界の中の日本・三春町という視点で発表がなされた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①全国学力テスト正答率全国平均を100とした場合の平均値		小105 中105	小97.2 中98.4			
②「主体的・対話的で深い学び」を実現するための町内小中学校における授業研究の実施回数	回	16	15			
施策の進捗状況						
学力向上に関しては、『三春町学校教育アドバイザー事業』本格実施2年目となり、子どもの学びを見る目の充実、学び合いの場の確保、授業研究の充実という方向性が明確になってきている。それを下支えするICTの利活用の充実や働き方改革の推進についても、社会や学校全体がその流れに沿って動いている。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策2 夢を育む豊かな心の育成

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①道徳教育の充実	新学習指導要領の下、『特別の教科 道徳』として、教科書を用いて各小・中学校ともに、標準時数の35時間を下限に道徳科の授業を展開した。また、副教材として、『ふくしま道徳資料集』も用い、『考え、議論する道徳』の実現をめざした。					
②三春の伝統・文化の学びを通じた郷土愛の育成	小学校の地域理解学習、中学校のキャリア教育の一環としての職業シンポジウム・調べ学習、食育における地域食材・産業の利活用などにおいて、6小学校・2中学校のそれぞれの地域に根ざした郷土学習により、郷土愛の醸成に努めた。					
③キャリア教育の充実	新型コロナのため、職場体験にかわり地域や職業に関する調べ学習を中心に『生き方学習』に取り組んだ。小学校では地域の様子や産業等を理解し、中学校では調べ学習から学んだことを実際の体験を通してさらに深い職業観・勤労観につなげようと計画した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①全国学習状況調査において、「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合	%	小60 中50	小79.0 中81.2			
施策の進捗状況						
子どもたち一人一人をより多く、確実に見る力の充実により、道徳の授業充実も図られるものとする。郷土愛に関しては、広く三春町や福島県を見る視点と共に、8小・中学校のある地域のよさや課題についての理解を促進する教育と相まって学ばせていくことで、本物の郷土愛が育成されるものとする。キャリア学習は『生き方学習』であり、国際感覚や『生き方学習』の根底をなすものに郷土愛があるとする。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策3 特別支援教育の推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①インクルーシブ教育の推進	特別支援学級・通級指導教室担当の研修、介助員研修、子育て・保健福祉・幼稚園・保育所等との連携や切れ目のない支援のための特別支援教育関係担当者会、個別最適な就学のための教育支援委員会等で町全体としてインクルーシブ教育システムの確立を目指した。					
②特性に応じたきめ細かな支援体制の構築	幼稚園・保育所担当・特別支援教育担当指導主事の配置、個別の教育支援計画等による切れ目のない支援、子育て支援課5歳児発達相談への指導主事の派遣、小学校間、小・中学校間での交流及び共同学習の推進等で特性等に応じた継続的支援体制の構築に努めた。					
③特別支援教育環境を充実する指導・研修体制の充実	令和2年度より『特別支援教育訪問相談会』を実施し、町内幼稚園・保育所6施設、小・中学校8校を公・私立の分けなく訪問し、気になる子の参観や対応、就学先の検討等について共に考え、話し合う機会を設けた。今年度は54回の訪問を実施した。					
④顔の見える地域支援ネットワーク	たむら支援学校地域支援センター『ゆめここ』、療育施設『のびっこらんど三春』との連携・協力を努めると共に、全校に特別支援学級を設置し、『共生社会』ネットワークの実現を目指した。行政3課の連携会議も企画し顔の見えるネットワークづくりを目指した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①学校等訪問相談会回数	回	30	57			
②個別の指導計画に基づき、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っている教師の割合	%	100	100			
③「特別支援学校のセンター的機能」を活用した学校の割合	%	50	16			
施策の進捗状況						
『共生社会』のためのインクルーシブ教育システム確立の方向性は見えているが、特別支援教育に対する理解の促進にさらに努めたい。指導法に視点が行き過ぎ、社会での自立した生き方の視点が弱い。また、特別支援教育に関心をもち、知識・技能の豊富な人材の確保も課題であり、地域の教育資源である特別支援学校や療育施設、行政3課の緊密なる連携の下、地域全体での特別支援教育の充実を目指したい。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策4 教職員の資質の向上

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①教師の指導力・授業力の向上	『三春町学校教育アドバイザー事業』を教員の指導力・授業力向上の中心に据え、“授業研究を第一優先”にというテーマをもって、子どもの学びから学べる教師としての“目”を育てていこうというねらいをもって取り組んだ。					
②子どもの学びの事実から学ぶ授業研究の推進	アドバイザーの訪問を各校2回ずつ準備し、麻布教育研究所の2名で授業改善にむけアドバイスを受けた。ねらいは参観者のための授業研究、子どもの学びや学び合いの姿をより多く見取ることので“学びを見る目”を育て、対応の拠り所とするというものであった。					
③学習指導要領改訂をふまえた教育内容・方法の改善	育てるべき3つの学力を念頭に、方法論としての『主体的、対話的で深い学び』、主体的に道徳的価値について考え、学び合いを通し価値を深める『考え、議論する道徳』という新学習指導要領趣旨をふまえた教育を展開し、教育の個別最適化を目指した。					
④教職員の働き方改革	各校管理職との連携の下、町教委からの提出文書や調査等の削減、校務の見直し、行事等の厳選、部活動のあり方を見直し、月80時間を超えないよう超過勤務時間の管理等、主体的に研修に取り組み、子どもと向き合う時間の確保のための働き方改革を推進した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①授業研究を通じて授業方法の検討・改善を確実にしている教師の割合	%	80	100			
②教職員としての資質や指導力の向上に進んで努めている教師の割合	%	80	100			
③ICTを活用して授業ができる教職員の割合	%	100	76.88			
④時間外勤務時間目標達成率	%	100	99.85			
施策の進捗状況						
『三春町学校教育アドバイザー事業』への取組は、全教育活動の充実により影響を及ぼしてくれと考える。その充実により、教員の資質は確実に高まると共に、それに応じて児童生徒との信頼関係はさらに確固としたものとなるものと考えている。ただ、そのためには、教員の働き方改革を確実に推進すると共に、ICT効果的な利活用により、教員の研修や児童生徒と共にある時間の確保に努めなければならない。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策5 一人一人の個性を生かす環境づくり

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①生徒指導体制の充実	『チーム学校』体制のもと、組織的・継続的な支援体制を構築し、児童生徒自身による自己実現能力の育成という生徒指導のねらいの実現をめざした。問題行動等は少ないものの、全国的傾向でもある不登校児童生徒の町全体の数の増加傾向が続いている。					
②不登校児童生徒への支援強化	SC・SSWなどの専門的知識をもつ人材を活用すると共に、生徒指導委員会・不登校対策委員会・ケース会議・講師を招へいした研修・関係諸機関との連携などにより、不登校（傾向）状況の解決を目指した。新規不登校児童生徒の抑制にも努めている。					
③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用	年度当初に小中学校全校をSSWと共に訪問し、有効活用の確認をすると共に、『SC・SSW相談依頼書』、『SC・SSWの有効活用について』という文書を発出し、相談しやすい、組織として対応できる仕組みづくりに取り組んだ。					
④教育相談体制の充実	三春中、岩江小・中にSCを配置し、児童生徒、教員、保護者が相談しやすい機能する教育相談体制の構築に努めると共に、それ以外の学校からの相談経路の明確化のため、『SC・SSW相談依頼書』を作成し、町全体の教育相談体制の構築をめざした。					
⑤いじめの未然防止・早期発見と早期対応	学力調査質問紙で4%の児童生徒がやむを得ないいじめがあると回答したため、いじめ「0」に向け、『いじめ問題理解基幹研修』の成果を校長会等の各種研修会で伝達し、いじめの未然防止の取組と早期発見・早期対応の重要性について意識化を図った。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①スクールカウンセラー相談件数 (月あたり平均)	件	60	50.7			
②スクール・ソーシャルワーカー 対応回数(年間)	回	550	470			
③いじめの認知件数のうち解消で きた件数の割合	%	100	97.8			
施策の進捗状況						
全国の状況と同様、町全体での不登校（傾向）児童生徒の数は増加している。SC・SSWの効果的な活用に向け、保護者も対象とした教育相談体制の確立や誰一人たりとも取り残さない『学びの場の保障』に向けた適応指導教室等の整備も急務である。いじめの未然防止や早期対応については、さらに積極的ないじめの認知に取り組み、いじめに対してより関心を強くもつ方向性を確実なものとしていきたいと考える。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

教育課 学校教育グループ

施策6 つながる教育の推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①幼稚園・保育所と小学校の連携推進	特別支援教育を中心に、幼・保・小の具体的連携に向け、アプローチプログラム・スタートカリキュラムという教育課程上の実践的連携をめざし、研修会においては、幼・保・小の連携の具体的展開例について具体的に協議し、関係諸機関において共有した。					
②小中連携・中高連携の具体的な取組の推進	学力向上面では学校教育アドバイザー事業において小・中学校が同一歩調で『子どもの学びに学ぶ』教師像の確立をめざし、中・高連携においても田村高校が学校教育アドバイザーの下で授業改善に取り組むとともに英語科・音楽科において文化面の連携にあたった。					
③関係機関と連携した特色ある学校づくり	町内全校に設置した学校運営協議会を中心に地域に開かれた学校づくりを目指し、教育課程においても地域の人材・資源を活用した教育活動に取り組み、学校と地域の協力関係にとどまらず、共同経営という意識をもって学校・地域づくりに取り組んだ。					
④幼稚園教諭・保育士スキルアップセミナー	幼児教育アドバイザー訪問事業により、アドバイザーが各幼稚園、保育所を各3回ずつ訪問し、保育参観後に、子どもと教諭・保育士の適切な関わり方や保育内容に関する懇談会を設定し、適切なアドバイスを受けることができた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
県立田村高等学校入学者のうち、三春町内出身者の割合	%	40	22			
町立幼児教育施設の幼稚園教諭、保育士対象研修回数	回	10	11			
施策の進捗状況						
幼稚園担当指導主事の配置により幼稚園・保育所と小学校の人的・教育課程上の連携は実現され、小・中学校の連携もこれまでの中学校区単位での学力向上・生徒指導面での連携により確保され、中・高の連携も、音楽や国際理解教育の推進により準備されている。また、特別支援教育においても、県の『切れ目のない支援事業』の積極的推進により、幼稚園・保育所から高学までの切れ目のない支援の方向性が明確になった。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 生涯学習グループ

基本施策 学び続け活躍できる社会の実現をめざす「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」

施策1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①町民のニーズを生かした講座の開催	「学校を核とした地域づくり研修会」11月20日(土) 講師 全国体験活動ボランティア活動実習センター 橋本洋光氏 参加人数 63人 地域学校協働の仕組みを理解し、より効果的な取り組みを推進することを目的に研修会を開催した。					
②高齢者学級、既存教室の充実	明德大学(3学年)、地区高齢者学級(7地区)で実施した。パソコン教室は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。					
③まほらミュージックプロジェクトの開催	(1)「Quartet DONKA(カルテットドンカ)」弦楽四重奏コンサート ・ロビーコンサート6月3日(木)約40人 ・三春小学校合奏部演奏クリニック6月3日(木)約40人 ・小学校音楽鑑賞教室6月4日(金)三春町立小学校6年生約180人 ・イブニングコンサート6月4日(金)143人 (2)「Cutie Strings(キューティースtrings)サマーコンサート」 7月25日(日)142人 (3)「合唱セミナー2021」7月29日(木) 講師：上田真樹氏 岩江中学校合唱部27人 三春中学校合唱部38人 (4)「佐藤秀徳 田村高等学校吹奏楽部 三春中学校ジョイントコンサート」10月24日(日)195人 (5)「真灯かなた ゴーゴージャズオーケストラ クリスマスコンサート」12月11日(土)232人					
④生涯学習活動団体登録と活動の支援	生涯学習活動団体として54団体の登録を認定した。また広報みはるや町ホームページでその団体の取り組みを紹介するなどし、活動の周知を行った。					
⑤学習成果発表の場の提供	町内で活動している団体に広く呼びかけ「令和3年度三春町文化祭」を開催し、日頃の学習成果発表の場を提供した。					
⑥ICTを活用した学習環境の整備	Wi-Fi整備により、インターネットを利用したオンライン学習など、多様な学びができるような学習環境を整備した。また、公共施設予約システムの導入に向け2月1日から利用者登録の受付を開始し、3月1日から予約受付を開始した。					
⑦三春町社会教育委員の会議の開催	年3回の会議を開催し、三春町教育委員会主催事業(講座、音楽イベント、体育イベント等)について社会教育委員より適宜指導と助言を得た。					
⑧三春町生涯学習を進める町民会議の開催	年2回の会議を開催し、各団体の取り組みについて意見交換を行った。また、三春町男女共同参画計画の策定に対し意見をいただいた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①一般教養講座	回	8	1			
施策の進捗状況						
新型コロナウイルス感染症拡大のため、一般教養講座については予定通り開催することができなかったが、まほらミュージックプロジェクトや文化祭などは内容を工夫して取り組むことができ、コロナ禍でもできる範囲の事業実施や生涯学習活動団体への支援を行うことができた。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
B：成果が上がって概ね良好に行われている
C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 多様な団体との連携と協働の推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①三春交流館運営協会と連携した芸術鑑賞教室	(1)三浦章宏&東誠三デュオリサイタル 6月12日(土) 140人 (2)小山実稚恵ピアノリサイタル 9月12日(日) 209人 (3)三春町伝統文化公演 11月14日(日) 192人 (4)ニューイヤーコンサート2022日本フィルハーモニー交響楽団 ・コンサート1月10日(月)374人 ・三春中学校アウトリーチ1月11日(火)110人					
②三春町国際交流協会と連携した国際交流事業	三春町青少年国際理解教育推進事業 ・田村高等学校とライスレイク高校とのオンライン交流 4月～3月 8回実施 延べ56人参加(4月～2月実施分) ・三春町青少年国際理解教育プログラム 6月～12月 7回実施 登録者12人参加					
③三春ダム等と連携した自然環境学習	・さくら湖自然教室 8月1日(日) 91人(32家族) 三春ダム管理事務所の駐車場において、水生生物の観察や木の実クラフトなどを行った。 ・さくら湖自然環境フォーラム 令和4年2月19日(土) WEB方式での開催。さくら湖の自然環境や生態系をテーマに研究報告等を行った。					
④高齢化、環境問題、家庭教育支援、人権問題、消費者問題等学習機会の提供	(1)成年後見制度講演会 講師 谷川社会福祉士事務所 谷川ひとみ氏 12月18日(土) 町民対象 43人 (2)子育て講演会 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止					
⑤三春町青少年問題協議会の開催	青少年健全育成に関わる町内団体の活動状況について情報共有を行った。 ・第1回会議(書面開催) 6月 ・第2回会議 11月10日(水) 青少年健全育成標語コンクール審査会も併せて実施					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①関係機関と協働した研修会の開催	回	3	1			
施策の進捗状況						
保健福祉課、子育て支援課と協働した研修会の開催は2回の計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため1事業が中止となった。また、三春町国際交流協会や三春交流館運営協会と協働した事業については、内容を変更しながらも事業を実施する事ができた。						

外部評価	
B	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 学習成果を地域の活動に生かす実践機会の促進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①生涯学習人材ガイドの利活用推進	登録者21人(団体含む)の中から2人の登録者にシニア学級の講座の講師を依頼し人材を活用した。					
②生涯学習支援者としての参加促進	生涯学習活動団体登録者一覧を保健福祉課に情報提供し、地域サロン活動への講師派遣などの一助とした。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①生涯学習人材ガイドの登録者数	人	30	21			
施策の進捗状況						
生涯学習人材ガイドに登録しても、コロナ禍による各地区等で活動自粛のため、生涯学習人材ガイド登録者の活躍の場の提供には至らなかった。コロナ禍でも対応できる内容を模索しながら各地区まちづくり協会等と協働した事業ができるよう取り組んでいきたい。						

外部評価

B

- A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 社会体育グループ

基本施策 スポーツを通した「健幸」なひとづくり

施策1 社会体育事業の振興 各種スポーツ大会・教室の充実

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①スポーツ推進委員による社会体育事業推進	会議を年間3回開催して情報の共有を図り、また実技講師養成研修を1回開催して、委員の主体性と資質の向上を図った。					
②町民参加型のスポーツ大会・教室の開催	さくら湖マラソン大会とみずウオーク大会は開催中止・延期としたが、町民ソフトボール交流大会を開催し、大会運営の継続と選手の体力づくりを図った。					
③体力・健康づくりにつながるスポーツ大会・教室の開催	スポーツ推進委員やスポーツ団体を講師として、トレッキング、ニュースポーツ・レクリエーション、スキー教室を開催して、町民の健康づくりを支援した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①スポーツ大会・教室参加人数	人	3,700	167			
②スポーツ大会・教室開催、参加回数	回	15	7			
施策の進捗状況						
感染症の影響により町の主要スポーツ大会が予定どおり開催できていないが、開催規模や運営方法等を見直しながら徐々にスポーツ活動等再開に向けて取り組んでおり、町民の健康づくりに資する事業を実施している。						

外部評価	
B	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 社会体育グループ

施策2 町民のスポーツ振興・拡充推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①市町村対抗スポーツ大会参加と競技力向上	軟式野球、ソフトボールと駅伝の町選手団を編成し、大会に参加した。編成、練習から大会まで通して、選手団と連携しながら、競技選手の育成を図った。					
②三春町体育協会の支援と事業活性化	体育協会に町補助金・交付金を交付し活動を支援するとともに、協会事務局を担当して調整を図った。					
③三春町スポーツ少年団の支援と青少年健全育成環境の充実	スポーツ少年団に町補助金・交付金を交付し、活動を支援するとともに事務局を担当した。団員の親睦交流を目的に、ニュースポーツ大会を1回開催した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①三春町体育協会加入人数	人	1,250	1,017			
②子どもスポーツ教室・講習会開催回数	回	2	1			
施策の進捗状況						
感染症の影響によりスポーツ活動にも制約がある中で、感染症対策の徹底を適宜周知しながら、町民のスポーツ活動を支援した。特に今年度は、本町における競技スポーツでの活躍が多くあり、町のスポーツ推進施策の成果も認められる。						

外部評価	
A	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 社会体育グループ

施策3 社会体育施設管理運営と利便性向上

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①社会体育施設管理運営と利用環境の充実	通年で体育施設の利用調整を円滑に行った。利用者の利便性向上を図るため、施設予約システムを導入し、社会体育施設でも運用を開始した。(3/31現在：105スポーツ団体等登録)					
②学校体育施設の開放事業	利用登録46団体、学校と管理員との連絡調整をしながら、適正に制度を運用した。					
③社会体育施設の長寿命化のための改修工事	町民体育館の受変電設備改修と天井吊りボルト交換工事を施工して、施設の長寿命化を図った。また、施設の老朽箇所、補修修繕を適宜施工し、適正に管理運営した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①社会体育施設の利用人数	人	70,000	37,747			
②三春町民体育館のバリアフリー化対策	回	2	0			
施策の進捗状況						
感染症の影響により目標値の約半分の施設利用人数となっているが、団体活動以外にも少人数や個人での利用は増えてきている。引き続き、感染症対策の徹底を周知しながら、利用者目線での施設管理運営を行っていききたい。バリアフリー化は次年度から取り組む予定である。						

外部評価	
C	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

基本施策 文化遺産の伝承 歴史と文化のまちづくり

施策1 文化財保護の推進・支援

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①文化財調査の推進	町内の古建築の取り壊しに伴い、土蔵1棟と繭仲買商1軒を調査し、ほか2棟の土蔵内の資料を収集・保管した。					
②文化財保護の推進・支援	滝桜と大桜の管理を地元保存団体に委託するとともに、大桜の保全工事を実施し、三春大神宮奉納白馬像の修繕を支援した。					
③三春町文化財保存活用地域計画の策定	先進自治体の地域計画を参考に、策定方法を検討した。					
④文化財保護審議会による提言の活用	昨年の文化財フォーラムで検討した三春城の活用について、VR作成に協力した。今年度は民俗芸能の現状の検討を予定したが感染症流行のため見送った。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①文化財の年間公開数	件	15	6			
施策の進捗状況						
資料館等での文化財の公開については、企画展の内容との兼ね合いで増減しているが、新型コロナウイルスの流行が収まれば、民俗芸能の現地発表の支援を進めたい。						

外部評価	
B	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

施策2 文化財の保存・公開施設の管理運営

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①保存・公開施設の適正な管理運営（歴史民俗資料館・自由民権記念館、郷土人形館）	歴史民俗資料館展示室の照明機器の一部をLEDに交換し、受変電設備の更新工事を実施した。また、郷土人形館のエアコンを換気型に改修した。					
②三春町文化伝承館	郡山女子大の協力により「三春たてもの探検2021」を開催し、151人が参加した。紫雲閣修繕工事の設計を完了し、工事に着手した（4年度に継続）。					
③歴史民俗資料館運営協議会によるフィードバック	5月に書面で3年度事業計画を諮り、12月に3年度事業経過報告と4年度事業計画を諮り、3月に3年度の成果を報告した。					
④歴史民俗資料館友の会支援	感染症対策を行いながら、月例の学習会やグループ活動を実施したほか、町の文化祭にも出展した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①友の会会員数	人	150	125			
施策の進捗状況						
新型コロナの流行により、2年連続で町外研修が実施できない状況ではあるが、新たに商工会が協賛会員となり、会の活動を広報することができた。						

外部評価	
B	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 歴史民俗資料館

施策3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①常設展・企画展の充実	「探検！三春城と城下町（春）」「三春と戦争（夏）」「河野広中の書（冬）」の企画展を開催したほか、次年度企画展等の準備をした。					
②各種講座・出版物の充実	各企画展に関連する講座のほか、夏休み及び町文化祭に際して体験講座を開催した。歴民ブックレット①を改訂・増刷した。					
③ホームページ・広報誌等での広報活動	町広報の歴民コラムとして、没後100年を迎える河野広中の生涯を連載するとともに、ホームページで川又家文書と高橋哲夫寄贈図書の内容を公開した。					
④学校・各種団体との連携	感染症対策を行ったうえで、町内小中学校からの見学を受け入れるとともに、小中学校教員の初任者研修、田村高校教員の研修に対応した。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①資料館の年間入館者数	人	9,000	4,505			
施策の進捗状況						
感染症対策を講じながら、個人客を中心に入館者を受け入れている。来年度は、滝ザクラと河野広中の記念展を開催するとともに、三春城のVR体験コーナーを設ける予定で、来館者の幅を広げていきたい。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 町民図書館

基本施策 本に親しみ、学びがあふれる「みんなの図書館」

施策1 図書館活用推進

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①利用者に親しまれる環境づくり	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、平日の開館時間を19時まで1時間延長し、利用者の居場所づくりを図った。 延長時間利用者：622人／184 日（土・日除く）					
②有用図書資料の収集・維持管理	利用者の役に立つ図書資料を選書し、リクエストも取り入れながら新着本を毎月の図書整理日に配置した。また、古い図書資料の除籍・廃棄を年4回実施した。5月からは桜ホールに町民図書館出張コーナーを設置し、除籍本・寄贈本を配架。 破損資料修繕：423 冊					
③広報活動やレファレンスサービスの充実	毎月の広報みはるへの掲載や行事記事の新聞掲載、さらに新たに公式ラインでの行事等の周知を行った。					
④図書館協議会開催	年3回開催し、図書館運営に関する情報共有と意見交換を行った。（6月・11月・2月） ※2月は、書面会議（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①図書館入館者数	人	35,000	26,727			
施策の進捗状況						
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、閲覧席の縮小や利用時間の制限を行い、館内の換気に注意し1日2回の閲覧席の消毒などを実施しながら、利用者に親しまれる環境づくりに努めた。平日の開館時間を延長したこともあり図書資料の貸出人数が伸びている。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
B：成果が上がって概ね良好に行われている
C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 利用者サイドに立った図書館運営

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①予約・リクエスト・相互貸借の充実	予約・リクエストサービスが利用者に認識され、増加傾向にある。昨年から地区交流館図書室での予約を開始したが、実績なし。					
②インターネット予約・蔵書検索サービス利用促進	パソコンやスマートフォンから図書資料の蔵書検索を行うことにより、迅速に新着登録本の検索利用につながり、インターネット予約も活用されている。 インターネット予約件数：79件					
③県立図書館情報ネットワーク活用	相互貸借システムを活用し、県内図書館との連携を図り、利用者の求める図書資料の貸借を行った。 貸出：21冊 借受：66冊					
④国立国会図書館総合目録ネットワーク活用	相互貸借システムを活用し、国内の図書館との連携を図り、利用者の求める図書資料の貸借を行った。 貸出：3冊 借受：3冊					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①レファレンス調査相談件数	件	1,150	1,089			
施策の進捗状況						
利用者の求めに応じ、日常生活に役に立つ図書資料の収集に努め、レファレンスについては親切丁寧に対応した。広域圏利用も増加傾向にあり、新規利用者も増えている。						

外部評価	
A	A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 町民図書館

施策3 歴史・文化を継承した社会づくり

施策の展開		令和3年度取組状況・実績				
①郷土資料・行政資料・参考図書の充実		令和4年1月から桜ホールに郷土資料コーナーを設置し、三春町史全11巻や行政資料などを配架し、桜ホールで閲覧できるようにした。				
②読書習慣・読書意欲向上のための各種行事の開催		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、出前おはなし会やブックスタート事業、図書館フェスティバル、朗読講習会、新春おはなし会は、ほぼ計画どおり実施できた。製本講座は中止。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）				
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①図書館ボランティアが参画している学校・施設	箇所	16	9			
施策の進捗状況						
低年齢の感染者拡大に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、出前おはなし会が中止になることもあったが、新たに桜ホールへのコーナー設置により読書活動を推進できた。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策4 各地域へのサービス充実

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①学校・施設・ボランティアへの団体貸出し	各教育機関への巡回文庫貸出（年3回）。その他、ボランティアへの団体貸し出しを行い、各施設でのおはなし会に利活用。 巡回文庫貸出：6,870冊					
②地区交流館図書室の資料管理	4地区交流館でテーマ展示コーナー設置（沢石・御木沢・中妻・中郷）。定期的に地区交流館図書室を巡回し、図書資料整備を行った。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①団体貸出冊数	冊	10,220	10,630			
施策の進捗状況						
各年齢に合った図書資料の貸し出しを行い、ボランティアの協力により読み聞かせ活動を実施した。各地区交流館では、新たに高齢者学級の学習内容に併せ、テーマ展示を行った。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策5 学校との連携・学習支援

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①職業体験・図書館見学受入れ推進	町内各小学校や幼稚園の図書館見学受け入れ。(8件) 職業体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし。					
②教育機関等との連携による学習支援	小学校の授業カリキュラムに合わせたおはなし会の実施。					
③子ども読書活動推進計画(第3次)推進	小学校、幼稚園、保育所等と連携し、図書館ボランティアとの協働で、出前おはなし会(読み聞かせ)を実施した。 実施件数:54回					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①読書活動ボランティアのべ人数	人	400	94			
施策の進捗状況						
朗読講習会受講者の中から図書館ボランティア登録があり、ボランティア育成につながっている。図書館ボランティアによる読み聞かせを推進した。						

外部評価

A

A: 十分成果が上がって良好に行われている
 B: 成果が上がって概ね良好に行われている
 C: 成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D: 成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

令和3年度事務点検及び評価シート

生涯学習課 児童生活センター

基本施策 保護者・地域・学校が一体となって推進する子供の健全育成

施策1 放課後子ども総合プラン推進事業

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①三春町放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会	第1回会議 6/24開催、第2回会議 11/17開催 三春町の総合的な放課後対策の在り方を検討するため、地域住民や学校関係者、PTA関係者などを委員とする委員会を実施した。3月予定していた第3回の会議は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、感染拡大防止の為書面開催となった。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①運営委員会開催	年/回	3	3			
②運営委員会による児童クラブ及びまほらっこ教室の視察回数	年/回	1	0			
施策の進捗状況						
運営委員会では、三春町が実施している放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業について意見を伺い、より良い事業運営を目指した協力体制の構築が図れた。第3回会議については書面開催とし、委員の方から意見・質問等をいただいた。児童クラブやまほらっこ教室の現状をより深く理解していただくために、運営委員会の委員による現地視察については新型コロナウイルス感染防止のため実施することができなかった。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策2 放課後児童健全育成事業（児童クラブ事業）

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ運営	児童が放課後を安全・安心に過ごせる生活の場としての適切な環境を整え、子育て支援・就労支援を行うことで保護者も安心して子育てができるよう児童クラブの運営に努めた。小学校と情報共有しながら児童の対応等について連携を図ることができた。					
②各クラブ保護者会による活動支援	親子で参加し楽しむ行事 7/24「バルーンアート教室」（わんぱくクラブ）7/25「御木ンピック」（御木沢児童クラブ）10/16「陶芸教室」（岩江児童クラブ） 感染予防に十分配慮し実施することができた。					
③異年齢集団活動、地域住民との連携等による交流事業	図書館ボランティアによるおはなし会を毎月実施。三春町敬老園のおじいちゃん・おばあちゃんへ手作りのプレゼントを制作した。感染拡大防止のため慰問・交流は行わず、プレゼントを贈るのみとした。地域の方による昔遊びについてはコロナの影響により中止となった。					
④土曜日を中心とした地域に拓く事業	土曜日は毎月3つの児童クラブのいずれかの児童クラブを開所し、地域に拓かれた活動と特色を生かしながら実施することができた。コロナ感染拡大防止のため、料理教室を粘土あそびや魚釣りあそび等に変更し、楽しく過ごせるよう工夫に努めた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①放課後児童支援員の人数	人	15	15			
②地域に拓く事業（理科クラブ、おりがみ教室、料理教室等）の実施回数	年/回	25以上	21			
施策の進捗状況						
令和3年度は新たに2名が放課後児童支援員の資格取得をし、目標値に達した。クラブ員が増加傾向にあることから、これからも資格取得者増員に向け積極的に研修受講を促していく。地域に拓く事業はコロナウイルスの影響により中止になった事業もあり、実施回数は達成できなかった。						

外部評価

A

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

施策3 放課後子ども教室推進事業（まほらっこ教室）

施策の展開	令和3年度取組状況・実績					
①まほらっこ教室運営（三春・岩江・御木沢・中妻・中郷・沢石）	町内6小学校区においてまほらっこ教室を実施し放課後を安全・安心に過ごし、地域住民の協力を得ながら多様な体験活動を行うことができた。定期的に学校との情報交換の機会を設け、緊密な連携を図りながら児童一人一人の状況の把握に努めた。					
②コーディネーター・ボランティアによる活動支援	コーディネーター・ボランティアとして、たくさんの地域の方々に事業へ参加いただき、充実した学習支援や体験活動を行った。ボランティア一人一人の特技を生かし、活動を通じて児童の成長を支えながら安全に見守ることができた。					
③放課後・長期休業日の居場所づくり	全ての児童を対象に、放課後から午後4時頃まで通常教室を実施。児童クラブのない中妻・中郷・沢石では午後6時まで延長教室を、長期休業日は午前8時30分から午後6時まで長期休業中教室を実施し、児童の安全・安心な居場所づくりの実現に努めた。					
成果指標	単位	目標値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
①まほらっこ教室ボランティアの人数	人	44	37			
②避難訓練の実施回数（各教室）	回	1	2			
施策の進捗状況						
町の広報や公民館等にまほらっこ活動指導員募集のチラシを置き、問い合わせはあるもののなかなか目標値には達せない状況である。支援の必要な児童への対応及び安全な見守りを複数の指導員で行うため、これからもボランティア指導員の確保に努めていく。避難訓練については、地震・火災による避難訓練を各教室2回実施することができた。今後も計画的に行い、児童が安全に過ごせるよう努めていく。						

外部評価

B

A：十分成果が上がって良好に行われている
 B：成果が上がって概ね良好に行われている
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

Ⅱ 事務報告書

教育委員会 教育課

教育総務グループ

令和3年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり

1 確かな学力・生きる力の育成・環境の構築

- コロナ禍においてやむを得ず学校に登校できない児童生徒に対し、オンライン学習が行える環境を整えること、また、校外での調べ学習等でも活用できることを目的としモバイルルーターを購入。

2 安全安心な教育環境の構築

(1) 学校施設の整備

- 岩江小学校体育館の老朽化した音響設備を更新し、体育館内の行事に対応できるようにした。
- 中郷小学校校舎及び体育館の外壁改修を行い、建物の長寿命化を図った。
- 沢石小学校職員室及び校長室の空調設備修繕を行い、職務環境の改善に努めた。
- 三春中学校の洋式便器を暖房便座に更新し、環境改善に努めた。
- 岩江中学校体育館の床を改修し、環境改善に努めた。

(2) 通学路環境対策事業

- 通学路の合同点検を実施し、交通安全プログラムの更新を行った。

I 総 務

1 教育委員会構成

- 令和3年4月1日～9月30日 教育長 添田直彦、教育長職務代理者 渡辺勉、委員 宗像俊樹、委員 宮田美穂、委員 太田文枝
- 令和3年10月1日以降 教育長 添田直彦、教育長職務代理者 太田文枝、委員 宗像俊樹、委員 宮田美穂、委員 菊地和裕

2 教育委員会招集回数及び提出案件

- | | | | |
|----------|-----|----|----------------------|
| (1) 招集回数 | 定例会 | 9回 | 4・5・7・8・9・10・11・2・3月 |
| | 臨時会 | 1回 | 3月 |

(2) 提出案件 42件

- ①教育委員会の所管する学校、その他の教育施設の管理・運営に関すること。(規則の制定・改廃等)
- ②教育財産の管理に関すること。(予算を含む)
- ③教育委員会及び教職員の人事に関すること。(各種委員の委嘱を含む)
- ④学齢児童生徒の就学に関すること。(要保護及び準要保護児童生徒の認定)
- ⑤その他、教育施策全般に関すること。

3 小・中学校児童生徒及び教職員数（令和3年5月1日現在）

（1）小学校

（単位：人、学級）

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
三春小	児童数	51	43	46	50	45	49	(16)	284
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
岩江小	児童数	53	38	50	48	38	52	(18)	279
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
御木沢小	児童数	13	14	21	7	15	12	(9)	82
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中妻小	児童数	7	8	9	7	8	6	(4)	45
	学級数	1	1	1		1		2	6
中郷小	児童数	3	8	8	12	11	8	(2)	50
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	6
沢石小	児童数	9	5	7	10	6	5	(10)	42
	学級数	1	1	1		1		2	6
合 計	児童数	136	116	141	134	123	132	(59)	782
	学級数	8	8	7	6	8	6	13	56

※（ ）は内数

（2）中学校

（単位：人、学級）

学校名		1年	2年	3年	特別支援学級	計
三春中	生徒数	100	95	110	(18)	305
	学級数	3	3	3	3	12
岩江中	生徒数	48	24	33	(4)	105
	学級数	2	1	1	1	5
合 計	生徒数	148	119	143	(22)	410
	学級数	5	4	4	4	17

※（ ）は内数

（3）教職員数

（単位：人）

学校名	教員	養護	事務	栄養	計	学校長名	町費支弁職員	備 考
小学校	三 春	23	1	1	-	25	猪 狩 仁	5.0 (内部作業員1、介助員4)
	岩 江	21	2	1	-	24	渡 辺 和 也	5.0 (内部作業員1、介助員4)
	御木沢	11	1	1	-	13	白 石 修 子	2.5 (内部作業員0.5、介助員2)
	中 妻	10	1	1	-	12	佐 藤 和 則	2.5 (内部作業員0.5、介助員1、非常勤講師1)
	中 郷	10	1	1	1	13	今井不二子	1.5 (内部作業員0.5、介助員1)
	沢 石	9	1	1	1	12	有 賀 仁 一	7.5 (内部作業員0.5、介助員4、非常勤講師3)

	計	84	7	6	2	99	-	24.0	
中学校	三 春	26	1	1	1	29	堂 山 昭 夫	7.0	(内部作業員1、介助員5、司書1)
	岩 江	12	1	1	-	14	木 幡 健	3.0	(内部作業員1、介助員2)
	計	38	2	2	1	43	-	10.0	
	合計	122	9	8	3	142	-	34.0	

このほか、英語教育助手2名（町）、スクールソーシャルワーカー1名（県委託）、日本語指導支援員2名（町）、スクールカウンセラー2名（県）、スクールサポートスタッフ8名（県）、特別非常勤講師（県）を配置。

4 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進事業

町内8校の小・中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、7つの学校運営協議会（岩江小中は合同で開催）に保護者や地域住民が参加し、学校運営に参画した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、紙面開催となった回もあったが、各校それぞれ年間3～4回の会議を開催し、積極的な話し合いが行われた。

5 三春町総合教育会議の開催

令和4年3月15日、三春交流館「まほら」小ホールにおいて、三春町総合教育会議を開催し、三春町第1期教育大綱の進捗状況等について、町長、教育長及び教育委員で協議した。

6 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和4年1月25日、岩江小学校2学年を学年閉鎖、1月26日から2月1日まで岩江小学校休業、1月26日から1月28日まで岩江中学校を休業とした。

状況に応じて学校行事の規模縮小等の対応をしながら、感染防止に努めるとともに、学校の新しい生活様式を徹底し、新型コロナウイルス感染症に係る偏見や差別を防止するよう指導に努めた。

II 学 校 管 理

1 GIGA スクール構想

(1) 教材備品（モバイルルーター）購入(令和2年度からの繰越事業)

- ・概 要 コロナ禍においてやむを得ず学校に登校できない児童生徒に対し、オンライン学習が行える環境を整えること、また、校外での調べ学習等でも活用できることを目的としモバイルルーターを購入。
- ・購入台数 小学校分242台 中学校分79台 計321台
- ・契 約 額 3,354,450円（うち消費税304,950円）
- ・国庫補助 3,210,000円
公立学校情報機器整備補助金(家庭学習のための通信機器整備支援事業)
(小学校費2,420,000円 中学校790,000円)

(2) 小中学校学習用タブレット端末保守業務委託

- ・概 要 タブレット端末管理システム（MDM）ソフトのシステム保守
学習支援ソフト（MetamojiClassroom）年次更新
タブレット端末本体の年次更新
タブレット端末本体の保守業務
- ・契 約 額 2,395,800円（うち消費税217,800円）

(3) 小中学校 ICT 支援員業務委託

- ・概 要 授業支援。研修支援。校務支援。環境整備支援。
- ・契 約 額 2,328,480円（うち消費税211,680円）

2 学校の教育環境整備

(1) 学校施設・設備工事

施設及び設備の工事については、下記のとおり実施した。

○小学校

施設名	工事内容	備考	金額（円）
岩江小学校	体育館音響設備更新工事	経年劣化のため更新	3,465,000 円
中郷小学校	外壁改修工事 (校舎及び体育館)	経年劣化のため改修	39,160,000 円
沢石小学校	空調設備修繕工事 (職員室及び校長室)	経年劣化のため更新	2,816,000 円
小学校合計			45,441,000 円

○中学校

施設名	工事内容	備考	金額（円）
三春中学校	暖房便座設置工事	環境改善のため設置	2,178,000 円
岩江中学校	体育館床改修工事	経年劣化のため改修	2,365,000 円
中学校合計			4,543,000 円

(2) 学校施設の補修・修繕整備

施設及び設備の破損・故障等については迅速に対応し、下記のとおり適時修繕を行った。

○小学校

施設名	修繕内容	金額（円）
三春小学校	ガス設備交換修繕	187,000 円
	防火扉修繕	121,000 円
	電気設備修繕	132,000 円
	軽微な修繕（ミシン修理 外 2 件）	38,995 円
岩江小学校	屋内消火栓設備修繕	539,000 円
	漏水修繕	407,000 円
	防火扉修繕	418,000 円
	軽微な修繕（ガラス修理 外 14 件）	403,590 円
御木沢小学校	体育館照明器具修繕	275,000 円
	軽微な修繕（トイレドアノブ交換 外 3 件）	67,386 円
中妻小学校	軽微な修繕（体育館照明器具修繕 外 3 件）	123,475 円
中郷小学校	呼水槽漏水修繕	357,500 円
	水泳プール循環化装置修繕	286,000 円
	軽微な修繕（音楽室照明器具修繕 外 7 件）	144,562 円
沢石小学校	道路災害復旧修繕	309,100 円
	ポンプ修繕	440,000 円
	太陽光発電設備修繕	1,760,000 円
	軽微な修繕（職員トイレ修繕 外 8 件）	337,150 円
小学校合計		6,346,758 円

○中学校

施設名	修繕内容	金額（円）
三春中学校	漏水修繕	157,300 円
	ガラス修繕	132,000 円
	GHPエアコン修繕	541,200 円
	軽微な修繕（給食室給湯器修繕 外 8 件）	817,668 円
岩江中学校	校務センターエアコン修繕	128,700 円

	防火扉修繕	455,400 円
	軽微な修繕（体育館鍵修理 外 7 件）	248,160 円
中学校合計		2,480,428 円

（３）学校施設保守管理の状況

各小中学校の施設及び設備に関する保守管理業務委託を実施し、適正な管理に努めた。

令和３年度の施設及び設備の保守管理業務委託料は、小学校で６，１３４，１８１円、中学校９，３８９，１８８円の合計１５，５２３，３６９円であった。

（４）備品購入

各小中学校の施設備品の更新及び新規導入を実施した。購入金額は小学校８，３５８，３３９円、中学校２，００７，５３３円の合計１０，３６５，８７２円である。

（５）児童の通学対策

中郷小学校の児童生徒の通学のため、スクールバスを運行した。空き時間には、校外学習の送迎等で当該バスを活用した。また、要田小学校北成田地区の児童の通学のためにタクシーを配車した。

田村警察署・三春土木事務所・町建設課・総務課・学校で通学路の合同点検を実施し、通学路における危険個所の洗い出しを行い対策を講じた。また、交通安全プログラムの更新を合わせて行った。

３ 児童生徒の健康管理

（１）健康診断

学校保健安全法に基づき、町内小中学校の児童生徒に内科健診、歯科健診、眼科健診、尿検査、心電図検査を実施した。

（２）フッ化物洗口事業

三春町を含む田村地方は、震災以降の生活環境の変化を含め、全国的にみても子どものむし歯有病率が高く、予防が喫緊の課題であるため、平成２８年度より小学校、平成３１年度より中学校にてフッ化物洗口を開始し、むし歯予防を進めてきた。

令和３年度も子どものむし歯有病状況の低減を図ることを目的とし、保護者から同意のあった児童生徒にフッ化物洗口を実施した。

- ・対 象 者 小学校１年生～中学校３年生
 - ・実施頻度 週１回
 - ・実 施 率 対象人数１，１８８人 実施人数１，１６５人 実施率９８．１％
 - ・むし歯有病率 令和 ３年度 小学校平均：４６．０％ 中学校平均：３１．７％
- （参考）平成２８年度 小学校平均：６０．８％ 中学校平均：４７．５％

４ 教職員の健康管理

（１）健康診断

学校保健安全法に基づき、教職員個人の健康保持のため、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

（２）メンタルヘルス事業

教職員のストレスの程度を把握し自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場の改善につなげて働きやすい職場づくりを勧めることによって、メンタルヘルス不調になることを未然に防ぐことを目的としたストレスチェックを、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

5 要田地区小学生の教育事務委託

「田村市と三春町の園児及び小学校学齢児童の教育事務の委託に関する規約」に基づき、田村市へ委託した教育事務の委託料は次のとおりであった。

- ・要田小学校教育事務委託料 309,000円（田村市への委託料）

6 学校保健特別対策事業

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にするため、文部科学省が実施する学校保健特別対策事業費補助金を利用し、マスク等の保健衛生用消耗品や密閉・密集・密接を回避するための備品等を購入した。

（１）感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（令和２年度から令和３年度への繰越分）

- ・総事業費 6,531,002円（内国庫補助額 3,200,000円）

小中学校別内訳は次表のとおりである。

○小学校

	品名	金額（円）
需用費	不織布マスク 外	1,039,500
備品購入費	加湿空気清浄機 外	3,850,313
合計		4,889,813

○中学校

	品名	金額（円）
需用費	不織布マスク 外	544,500
備品購入費	加湿空気清浄機 外	1,096,689
合計		1,641,189

（２）感染症対策等の学校教育活動継続支援事業（令和３年度分）

- ・総事業費 872,469円（内国庫補助額 400,000円）

小中学校別内訳は次表のとおりである。

○小学校

	品名	金額（円）
需用費	アルコール消毒液 外	653,015
合計		653,015

○中学校

	品名	金額（円）
需用費	アルコール消毒液 外	219,454
合計		219,454

（３）学校等における感染症対策等支援事業（令和３年度から令和４年度への繰越分）

- ・総事業費 7,830,000円（内国庫補助額 3,825,000円）

小中学校別内訳は次表のとおりである。

○小学校

	品名（計画）	金額（円）
需用費	アルコール消毒液 外	1,490,000
備品購入費	加湿空気清浄機 外	4,030,000
合計		5,520,000

○中学校

	品名（計画）	金額（円）
需用費	アルコール消毒液 外	730,000
備品購入費	非接触体温測定機 外	1,580,000
合計		2,310,000

Ⅲ 教育振興

1 備品購入

各小中学校の授業等で使用する教材備品の更新及び新規導入を実施し、購入金額は小学校1,846,821円、中学校698,181円の合計2,545,002円であった。この他、学校図書館の図書購入金額は、小学校1,102,592円、中学校679,835円であった。

2 特色ある学校づくり支援事業

各校が特色ある学校づくりを推進するための事業の企画、立案及び事業の実施に対して、円滑かつ着実な事業展開を促進するための交付金制度を平成25年度より設けている。

学校名	事業内容等	金 額
三 春 小	「主体的・協働的に学ぶ子ども」の実現に向けた授業改善。特設部活動の推進。地域と共に歩む学校づくりの推進。	270,000 円
岩 江 小	音楽クラブの活動の充実。望ましい集団作りを生かした生活指導。	300,000 円
御木沢小	地域のよさの再発見。ふれあい発表会の DVD 作成、家庭への配付。	300,000 円
中 妻 小	体験的学習等の充実。宿泊学習での活動の充実。	270,000 円
中 郷 小	地域体験活動を通したキャリア発達を高める教育活動の推進。まちづくり協会を中心とした地域との交流活動。	300,000 円
沢 石 小	語りの講演や図書室の整備により読書への興味、意欲を高める活動。元気っこ活動でのスケート体験。	270,000 円
三 春 中	職業講話や性に関する授業への講師招へい。校外学習での森林環境学習や SDG s の学習。	290,000 円
岩 江 中	ICT を活用できる環境の整備。職業シンポジウムの実施。	270,000 円

3 就学援助

(1) 要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費

経済的な理由により認定した要保護・準要保護児童生徒の数は、小学校145名（全児童総数の18.5%）、中学校82名（全生徒総数の20.0%）、就学予定者14名の計241名であった。このほか、原発事故等による被災者への支援は、小学校18名、中学校5名、就学予定者2名の計25名であった。就学援助費の額は、小学校11,920,820円、

中学校 10,971,539円、就学予定者 714,840円の合計 23,607,199円であった。

なお、被災者への支援は福島県被災児童生徒等就学支援事業補助金（10/10）2,296,759円を受けた。

○経済的理由

（単位：円）

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	145	2,723,210	7,397,610	1,800,000	11,920,820
中学校	82	6,351,299	4,620,240	-	10,971,539
就学予定者	14	-	-	714,840	714,840
計	241	9,074,509	12,017,850	2,514,840	23,607,199

○被災

（単位：円）

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	18	379,265	903,930	120,000	1,403,195
中学校	5	493,784	297,660	-	791,444
就学予定者	2	-	-	102,120	102,120
計	25	873,049	1,201,590	222,120	2,296,759

（2）特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減のため、就学奨励費を支給した人数は、小学校 33名、中学校 8名の計 41名、奨励費の合計は 1,584,507円であった。なお、特別支援教育就学奨励費国庫補助金 705,000円を受けた。

（単位：円）

	人数	学用品費等	給食費	通学費	計
小学校	33	250,081	637,275	174,420	1,061,776
中学校	8	283,646	239,085	0	522,731
計	41	533,727	876,360	174,420	1,584,507

IV 学校給食

1 学校給食の年間実施日数

（1）小学校

（単位：日）

学校名	三春小	岩江小	御木沢小	中妻小	中郷小	沢石小
実施回数	192	190	192	188	196	196

（2）中学校

（日）

学校名	三春中	岩江中
実施回数	189	176

2 給食調理の概要

(1) 調理及び配送業務

施設名	調理・配送業者	契約期間	令和3年度 委託料（円）	3ヵ年総額 委託料（円）
三春小学校	福島県郡山市中町 5-1 株式会社 メフォス	平成31年度から 平成33年度まで	11,388,300	34,061,370
三春中学校		令和3年度から 令和5年度まで	10,450,000	31,350,000
さくら共同調理場 沢石共同調理場		平成31年度から 平成33年度まで	16,401,000	49,053,900
岩江幼稚園 岩江小学校 岩江中学校		令和2年度から 令和4年度まで	13,200,000	39,600,000

(2) 年間調理食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
三春小学校	5,200	5,424	6,618	4,407	1,594	5,908
三春中学校	5,145	5,852	6,533	4,396	1,715	6,094
さくら共同調理場	2,558	2,755	3,487	2,136	661	3,164
沢石共同調理場	3,308	3,370	4,229	2,728	978	3,831
岩江幼稚園 岩江小学校	6,465	6,832	8,345	5,577	2,047	7,359
岩江中学校	1,625	2,127	2,123	1,614	619	1,984
計	24,301	26,360	31,335	20,858	7,614	28,340

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三春小学校	6,144	5,107	5,423	4,789	5,422	4,465	60,501
三春中学校	6,056	6,805	5,441	5,095	6,111	3,542	62,785
さくら共同調理場	3,016	3,101	2,637	2,398	3,134	2,242	31,289
沢石共同調理場	3,817	3,562	3,312	2,739	2,681	2,727	37,282
岩江幼稚園 岩江小学校	7,540	7,789	6,428	4,356	5,309	5,362	73,409
岩江中学校	2,123	2,382	2,111	1,491	2,252	1,295	21,746
計	28,696	28,746	25,352	20,868	24,909	19,633	287,012

(3) 修繕

施設名	修繕内容	金額（円）
三春小学校	包丁まな板殺菌庫パネル修繕 外	100,419 円
岩江小学校	給食室加圧給湯ポンプ修繕 外	304,480 円
三春中学校	ガス回転釜修繕 外	138,556 円
さくら共同調理場	給食配送車修繕 外	224,972 円
沢石共同調理場	給食室天井等修繕 外	603,570 円
計		1,371,997 円

(4) 備品購入

施設名	修繕内容	金額 (円)
三春小学校	冷蔵庫	506,000 円
岩江小学校	冷凍冷蔵庫 外	1,298,000 円
三春中学校	移動台 外	116,573 円
岩江中学校	冷凍冷蔵庫 外	1,045,000 円
沢石共同調理場	収納棚 外	332,200 円
御木沢小学校	給食配膳台	303,160 円
計		3,600,933 円

(5) さくら・沢石共同調理場運営委員会の開催

さくら・沢石共同調理場業務の適正・円滑な運営のため、関係学校の校長、教頭、栄養職員、保護者代表、教育委員会職員等で組織した運営委員会をさくら・沢石の両共同調理場で年2回開催し、共同調理場の給食運営について協議した。

また、さくら共同調理場においては、受配校給食事務担当者会を年2回開催し、調理場、受配校、教育委員会間で事務内容等の打合せを行った。

3 給食における放射性物質対策について

給食における検査は、前日の食材検査と事後の給食まるごと検査（給食完成品検査）を三春の里ベクレルセンターにおいて実施した。食材検査の検出下限値は20ベクレル/kg、まるごと検査は10ベクレル/kgであるが、いずれの結果も検出下限値を下回っており、安全な給食を提供することができた。なお、これらの結果は、町ホームページや学校だより等で保護者に情報提供を行った。

令和3年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり

1 確かな学力・生きる力の育成・環境の構築

- 学校教育アドバイザー訪問をとおして、生徒の学びを見とる力を育成し、授業改善、授業研究改善の推進を図った。
- 前年度行った電子黒板の設置、児童生徒一人一台のタブレット端末の配置を受け、授業におけるICT活用の推進を目指し、学校教育研究員会を中心として職員研修の充実、情報提供を行った。
- 「ふくしま学力調査」・「全国学力・学習状況調査」・「町総合学力調査」・「リーディングスキルテスト」の4つのテスト結果を分析し、各校の管理職や学力向上担当が参集する研修会で課題を明確にして今後の対策を検討した。
- 特別支援教育に関する研修会の運営の工夫、改善を行った。各校への訪問相談を充実させ、支援に関する助言を行った。
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応をめざし、「三春町いじめ防止基本方針」の見直しを行った。
- 三春町国際交流協会、生涯学習課と連動し、英語教育・異文化交流関連の各事業の充実を図った。また、「外国語科」「外国語活動」アドバイザーとして小学校を訪問し助言、アドバイスをを行った。

I 夢が育つ学校教育の推進へむけて

1 学校経営懇談会 5回／年

教育長、教育次長、指導主事、各小・中学校長による教育上の諸問題の解決並びに学校経営充実のための検討や協議、情報交換を行った。「経営懇談会」の主旨を果たすべく、各回討論テーマを設定し、テーマのもと意見交換し、校長としてのマネジメント力向上を図った。

第1回 令和3年度「三春の教育」、小中学校管理規則、学校教育アドバイザー訪問
学力向上推進計画

第2回 ハラスメントの調査、新型コロナウイルス感染症対策、学校教育研究員会、学力
向上推進会、夏季休業中の生徒指導、夏季休業中の服務倫理

第3回 新型コロナウイルス感染症対策、ふくしま学力調査の概要と改善方策について、
危機管理体制の確認について

第4回 令和4年度教育課程編成、全国学力・学習状況調査に係る改善方策について
三春町学力調査について、生徒指導上の課題対応の充実に向けて

第5回 教育大綱・教育課指導の重点について、教育課程届、学校評価について、卒業式・
入学式、滝桜天然記念物指定100周年事業について

2 教頭会議 2回／年

各学校の実務の中心となる教頭と三春の教育への共通理解を図り、各校の教育活動の推進に努めるべく今年度も2回開催した。

第1回 三春の教育について、教育大綱について、校務支援システムについて、町教委提
出文書、学校訪問について、特別支援教育について、英語教育関係について

第2回 令和4年度教育課程編成に向けて

3 学校教育アドバイザー派遣事業・授業づくりセミナー

昨年度、各校1回を基本に始まった学校教育アドバイザー派遣事業は、今年度2年目を迎えた。各校への派遣を基本的に2回に増やし、各アドバイザーより様々な助言・アドバイスをいただき、各校の授業研究の在り方の改善、教師の児童生徒を見とる力の育成を図った。

小学校では令和2年度、中学校では令和3年より新学習指導要領が施行され、教師は「教える」から「学びをつくる」へ、児童生徒は「教わる」から「学ぶ」への転換が大切になった。

従来の一斉授業からの脱却を目指し、「主体的・対話的で深い学び」すなわち、児童生徒が自ら進んで学び合い、考えを深め、資質能力を身につけることができるように、アドバイザーと各校の課題について話し合いながら派遣事業を進めた。アドバイザーは、各校での講演で全国の先進的な実践例を効果的に紹介しつつ、受講者の意識改革を行った。

- 村瀬公胤 先生(麻布教育研究所長) 4回
- 永島孝嗣 先生(麻布教育研究所特別研究員) 11回
- 計15回

契約：学校教育アドバイザー業務委託

令和3年4月1日～令和4年3月31日 1,500,000円

また、授業づくりセミナーを9月16日に三春小学校、交流館「まほら」で実施した。町内の小中学校の教職員を対象に、佐藤 学先生(東京大学名誉教授)を講師に招き、今求められる授業改革について研修会を実施した。

4 学校教育研究員会 6回／年

三春町教育委員会の基本方針である「子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり」を推進するために、研究員を2つのグループに分け、それぞれのテーマに基づいて、研究に取り組んだ。

(1) Aグループ「主体的・対話的で深い学びによる授業づくり」

研究員は在籍校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究を進めるとともに、1人につき1校、他校の学校教育アドバイザー訪問日の研修に参加した。また、自校の授業研究の推進状況や課題について情報交換し、自校の研修の改善に活かした。研究員は、子どもの学びの事実からわかったことや自校の活動に生かせる点などを学校訪問レポートとしてまとめ、各学校での指導に活かした。

(2) Bグループ「三春のGIGAスクール ICTの利活用」

昨年度、電子黒板やタブレット端末等が整備され、授業での使用場面が増えた。学校教育におけるICT活用に関する教職員対象のアンケート調査を2回実施し、課題を洗い出し、結果データを各校に配布することで今後のICT利活用推進へむけて意識の向上を図った。研究員の自校での実践例や収集したICT活用例は、各学校で取り組みに活用できるよう指定のグーグルドライブに保存し、共有できるようにした。

(3) A・Bグループ共通

学校教育研究員むけの研修として、夏季休業中に実施されている須賀川市教育研修センター主催の「教科教育研修」及び「セミナー研修」へ希望者を募り派遣した。先進的な授業実践にふれ、研修してきたことをレポートにまとめ、各学校での指導に活かした。

5 学力向上推進支援事業 通年

(1) 児童生徒の学力の実態把握

様々な観点から学力の実態を把握し、その結果を各校での指導に活かせるよう「学力向上推進委員会」や「学校経営懇談会」で情報を共有した。各校で指導の振り返りを行い、指導の改善策を講じるきっかけとなる研修を運営した。

①ふくしま学力調査 (令和3年4月21日実施)

- ・小学校4～6年(国語・算数)
- ・中学校1,2年(国語・数学)

②全国学力・学習状況調査 (令和3年5月27日実施)

- ・小学校6年(国語・算数)
- ・中学校3年(国語・数学)

③町総合学力調査 (令和4年1月実施)

- ・小学校1～6年(国語・算数)
- ・中学校1～2年(国語・数学・英語)

契約：町総合学力調査業務委託(単価契約)

797,240円 受験者 小学校728人 中学校214人

④リーディングスキルテスト (令和3年7月2日～9月30日実施)

- ・中学校1～2年

契約：リーディングスキルテスト受験料

412,005円 受験者 中学校227人

6 特別支援教育の取組

(1) 就学について

三春町教育支援委員会に依頼し、審議した結果は以下のとおりであった。

○就学相談件数等

審議依頼 受理人数	判定結果				相談後の就学先			
	通常学級 入級適	通級指導 教室入級適	特別支援 学級入級適	特別支援 学校入校適	通常 学級	通級指導 教室	特別支援 学級	特別支援 学校
43 人	6 人	13 人	21 人	3 人	7 人	14 人	19 人 (知 5 人) (自情 14 人)	3 人

(2) 研修・指導について

①介助員研修会、特別支援学級・通級指導教室担当者会、特別支援教育関係担当者会における研修・指導の充実

専門的知識・技能を有する講師を招へいし、児童生徒に関わるすべての関係者の研修活動を支援することにより、研修を生かした指導の充実をめざした。

②共に学び、共に生きるための三春町特別支援教育訪問相談会の実施

指導主事が現場の保育士・教諭等と共に幼児児童生徒の指導等に悩みや課題等を共有し、指導・経営のあり方を探っていく訪問相談会を幼稚園・保育所 19 回、小学校 18 回、中学校 1 回の計 38 回実施した。

(3) 連携・協力による一人たりとも取り残さない切れ目のない指導・支援について

①3 課連携・協力の促進

教育課・子育て支援課・保健福祉課の関係 3 課の連携・協力体制を確立し、児童生徒、保護者に多方面から関わり、安心して学べる環境づくりに取り組んだ。

②子育て支援課との 5 歳児発達相談の連携実施

5 歳児発達相談における訪問観察を町内 6 施設を中心に 15 回訪問し、幼児の特性等の早期発見と就学・自立を見通した個の教育的ニーズ等に応じた早期対応を図る機会とした。

7 いじめの未然防止・早期発見・早期対応にむけて

○「三春町いじめ防止基本方針」の改訂

地域及び関係機関との連携を図りながらいじめを許さない環境づくりと未然防止に務める体制づくりが求められる昨今の状況下、「三春町いじめ問題対策連絡協議会」において三春町いじめ防止基本方針の改訂を検討した。会自体はコロナ禍により書面開催となったが、福島県の指針を受け、「重大案件」が発生した場合も見越し、より実用性のある形に改訂した。

8 グローバル化する社会に適応するための英語教育の充実

(1) 三春町国際交流協会、生涯学習課との連携

「英語弁論大会（三春町国際交流大会）」「こども英会話教室（三春町国際交流協会）」「国際理解教育プログラム」など、学校と主催者をつなぎ、各事業の運営の支援をした。

(2) 小学校「外国語科」「外国語活動」アドバイザー派遣事業

小学校 3，4 年における外国語活動、小学校 5，6 年における外国語科は、教科として採用されてまだ日が浅く、担当する教師も指導に不安を抱えていることが多い。

指導主事によるアドバイザー派遣を行った。授業を参観し、「外国語科」「外国語活動」の授業づくりについて助言、アドバイスをを行った。

- ・ 6 月 15 日 中郷小学校訪問
- ・ 7 月 13 日 沢石小学校訪問
- ・ 9 月 14 日 三春小学校訪問

教育委員会 生涯学習課

生涯学習グループ

令和3年度重点施策の進捗状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（生涯学習・文化環境の充実、スポーツの振興）

目標5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり（地域間交流及び国際交流の推進）

目標6 協働と町民参画による自立したまちづくり（公共施設等の維持管理）

1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

（1）まほらミュージックプロジェクトの開催

三春交流館「まほら」を会場として町民や小・中・高校生が若手演奏家や町外の芸術サークル等と交流する機会を設けることにより、芸術に対する理解や感性の向上、豊かな心を育むとともに、若手演奏家の育成及び郷土愛の醸成を図った。

2 多様な主体との連携・協働の推進

（1）三春町国際交流協会や田村高等学校との連携による国際交流事業の実施

① 国際交流事業の実施

・三春町青少年国際理解プログラム

新型コロナ禍で中止せざるを得なかったサマーキャンプ派遣を代替するものとして、ブリティッシュヒルズへの国内留学をプログラムの一部に組み込んでいたが、新型コロナウイルス感染症対応のため、国内留学自体は中止することとなった。その他の講座は下記の通り実施した。

・田村高校とライスレイク高校とのオンライン交流

昨年に引き続き、田村高校と姉妹校であるライスレイク高校をオンラインで結び、生徒同士の交流活動を実施した。

（2）三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

地域振興や町民の生活文化の向上を図ることを目的に感染症対策を講じながら4公演を開催した。

3 多様な人材の幅広い活動の推進

町民の生涯学習活動のニーズに対応できるよう、講師となり得る生涯学習人材の募集を行うとともに、ボランティアの醸成を図った。

4 生涯学習施設（所管分）の適正な維持管理と運営

建物の劣化状況に応じた適切な維持保全をすべく、長寿命化計画に基づき、工事・修繕の実施及び保守点検において指摘のあった事項について速やかに修繕対応した。

1 委員会等に関する事業

社会教育委員…青少年及び成人に対して行われる教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、その他関係者に対し、助言と指導を行う。

委員長 遠藤弘子 副委員長 宗像幸子 委員 有賀仁一（～令和3年7月31日）

久保知之（令和3年8月1日～） 高野信広 佐久間伊一

【任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容	場 所
社会教育委員	5	5月 (紙面)	第1回社会教育委員の会議 令和3年度事業計画	紙面開催
		5月 (紙面)	田村地区社会教育委員連絡協議会第1回 総会（役員会）	紙面開催
		6月14日	県社会教育委員連絡協議会第1回理事会・ 総会	郡山市中央公民館
		9月30日～ 10月1日	県社会教育研究集会・県社会教育委員連絡 協議会第2回理事会 ※中止	南会津町 御蔵入交流館
		12月14 日	第2回社会教育委員の会議 令和3年度事業の中間報告 令和4年度事業の取組について	三春交流館「まほら」
		3月 (紙面)	第3回社会教育委員の会議 令和3年度事業報告	三春交流館「まほら」
		3月14日	県社会教育委員連絡協議会第3回理事会 (地公連会長)	福島市 中央学習センター

○生涯学習を進める町民会議…町民の意見を行政に反映させ、町民の生涯学習の普及・推進を図る。

委員長 柳沼孝則 副委員長 佐久間眞

委員 桑山トミ子 佐久間亨 佐久間勝美 伊藤徳男 影山光雄 柳沼学 高橋市太 新田信二
白岩浩 大槻とし

【任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成人数	時 期	内 容	場 所
生涯学習を進める 町民会議	12	8月6日	第1回生涯学習を進める町民会議 各団体の事業計画について	三春交流館「まほら」
		3月(紙面)	第2回生涯学習を進める町民会議 生涯学習課事業報告について	

○青少年問題協議会…青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の事項について、調査審議する。

会長 坂本浩之 副会長 千葉富子

委員 添田直彦 伊藤久雄 佐久間誠治 相川義則 大内昌子 有賀仁一 大内健一 齋藤光次
橋本和子 遠藤均 尾形幸男 佐伯孝宏

幹事 教育次長兼教育課長 保健福祉課長 子育て支援課長 生涯学習課長

【任期 任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成 人数	時 期	内 容	場 所
青少年問題協議会 (第1回)	17	6月(紙面)	各団体の青少年健全育成に係る活動計画について	三春交流館「まほら」
青少年問題協議会 (第2回)	17	11月10日	各団体の青少年健全育成に係る活動状況について 青少年健全育成標語コンクール審査会	三春交流館「まほら」

○さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会…さくら湖自然観察ステーションで行う事業について、企画・運営する。

委員長 堀越正文 副委員長 佐々木浩一

委員 吉川久三 沖津二郎 武地優子 野中敏光 影山博 鈴木武 橋本 宏克 山口登美男

【任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日】

事業名	構成 人数	時 期	内 容	場 所
さくら湖自然観察 ステーション企画 運営委員会	10	3月(紙面)	令和2年度実績報告 令和3年度事業計画案について	さくら湖自然観察 ステーション

2 学びへの参加のきっかけづくりの推進

(1) 町民のニーズを生かした講座の開催

① パソコン町民講座

三春町パソコン講座連絡協議会主催。新型コロナウイルス感染症予防のため事業中止。

② 「学校を核とした地域づくり研修会」

・講師：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 橋本 洋光 氏

・題目：「学校と地域の協働について」

人数	時 期	内 容	場 所
63	11月20日	地域学校協働の必要性を再認識し、学校と地域の結びつきをより深めることを目的とした研修会。	三春交流館「まほら」

③ 「成年後見制度講演会」

・講師：谷川社会福祉士事務所 社会福祉士 谷川 ひとみ 氏

・題目：「成年後見制度について」

人数	時 期	内 容	場 所
43	12月18日	成年後見制度に関する町民の理解促進を目的とした研修会。	三春交流館「まほら」

④ 「子育て講演会」

・講師：陸上選手・パラリンピックマラソン伴走者 中田 崇志 氏

・題目：「大人は子どもの伴走者」

人数	時 期	内 容	場 所
-	2月12日 (中止)	スポーツ指導者の観点から見た子育てのあり方について学ぶことを目的とした研修会。	三春交流館「まほら」

(2) 高齢者学級事業

高齢化社会が進む中で、高齢者に対しての期待は大きく、集団学習を通して地域のネットワークを創り、生き方を学び合い、健康で明るく生活できる教養を身につけ、自立した地域社会づくりを推進する。

明德大学は、教育委員会が開設運営し、町全体から学生を募集し2学年制で行っている。地区高齢者学級は地区の方が自主的運営を行い、教育委員会が運営の支援を行っている。

①中央高齢者学級

事業名	人 数	時 期	内 容	場 所
明德大学 1・2年生	1年(50期) 23名 2年(49期) 29名 (※令和4年 3月現在)	月1回	4月 1年(50期)入学式 48期・49期・50期合同教養講座教育長講話 『三春に「ほんものの教育を」』	三春交流館 「まほら」他
			5月 49期 移動学習 東日本大震災・原子力災害伝 承館等視察 50期 教養講座「簡単自分史講座」	
			6月 48期卒業式・49期修了式	
			7月 49期 健康講座 「健康長寿の秘訣は毎日の食事から」 50期 交通安全教室 「高齢者の交通安全と防犯」	
			8月 49期 歴史講座 企画展「三春の戦争」 50期 歴史講座 企画展「三春の戦争」	
			9月 49期 町定例議会一般質問傍聴 50期 教養講座 「知って役立つ！成年後見制度！」	
			10月 49期 教養講座「遺産相続と遺言」 50期 教養講座「からだと脳のストレッチ」	
			11月 49期 移動学習 勿来の関・白河方面視察 50期 移動学習 東日本大震災・原子力災害伝 承館等視察	
			12月 49期 健康講座 「冬の健康管理について～感染症予防～」 50期 健康講座 「健康長寿の秘訣は毎日の食事から」	
			1月 49期・50期合同 町長講話 「三春町の現状と課題」	
		2月	49期 ニューススポーツ体験 「ボッチャ」 50期 ニューススポーツ体験 「ボッチャ」	

(3) まほらミュージックプロジェクトの開催

音楽文化振興を目的に、町内小学生を対象とした音楽鑑賞教室や中学生を対象とした合唱のセミナーなど全5事業を行った。

①^{カルテット ドンカ}Quartet DONKA弦楽四重奏コンサート

内 容	三春町役場新庁舎完成を記念したロビーコンサート
日 時	6月3日(木) 12:30~13:00
場 所	三春町役場1階多目的スペース
来場者数	約40人

内 容	三春小学校合奏部の児童に対する楽器の指導
日 時	6月3日(木) 15:30~16:40
場 所	三春小学校プレイルーム他
対 象	三春小学校合奏部 約40人(教職員含む)

内 容	三春町立小学校の児童に対する音楽鑑賞教室
日 時	6月4日(金) 13:30~14:30
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
対 象	三春町立小学校6年生 約180人(教職員含む)

内 容	弦楽四重奏コンサート
日 時	6月4日(金) 18:30~20:00
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
来場者数	143人

②^{キューティアー ストリングス}Cutie Stringsサマーコンサート

内 容	郡山を中心に活動している小学生から大学生までのアマチュアの管弦楽団約20人によるコンサート
日 時	7月25日(日) 14:00~15:30
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
来場者数	約142人

③合唱セミナー2021

内 容	中学校の課題曲「足跡(あしあと)」を編曲した上田真樹(うへだまき)先生による、NHK 学校音楽コンクールに参加する児童を対象とした合唱セミナー
日 時	7月29日(木) 10:00~12:00(岩江中学校) 13:30~15:30(三春中学校)
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
対 象	三春中学校合唱部(27人)・岩江中学校合唱部(38人)

④佐藤秀徳 三春中学校吹奏楽部 田村高等学校吹奏楽部ジョイントコンサート

内 容	佐藤秀徳氏（郡山出身のトランペッター）、田村高校吹奏楽部（22人）、三春中学校吹奏楽部（16人）による合同コンサート
日 時	10月24日（日）14：00～16：00
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
来場者数	180人

⑤^{まとう}真灯かなた GO-GOジャズオーケストラ クリスマスコンサート

内 容	真灯かなた ゴーゴージャズオーケストラによるコンサート
日 時	12月11日（土）18：00～20：00
場 所	三春交流館「まほら」まほらホール
来場者数	232人

（４）生涯学習団体の活動支援

① 各種活動支援

事業名	団体数	時 期	団体の支援
各種団体 支援	3	随時	・三春町婦人会 補助金 10万円 ・生涯学習支援ボランティアの会 交付金 20万円 ・三春町国際交流協会 交付金 418,713円

② 生涯学習活動団体登録及び学習支援

生涯学習活動団体の学習の場の支援として使用料減免や文化祭等での発表の場の支援を実施した。

生涯学習活動団体登録 54 団体

③ 文化祭の実施

期 間 令和3年10月16日（土）から11月7日（日）まで

開 幕 式 令和3年10月16日（土） 三春交流館「まほら」小ホール

参加団体 21団体（ホール発表2、合同展示8、個別発表・展示等11）

来場者数 延べ2,909人（前年延べ2,249人）

【合同展示】11月4日（木）から11月7日（日）

場 所	行 事 名
ホワイエ	パッチワークあじさいの会
	NPO 法人かたつむり でんでんむし
	三春遊墨会
	人権擁護委員
	行政相談委員
	編物サークル
	歴史民俗資料館
	歴史民俗資料館友の会

【個別展示・発表の部】10月16日（土）から11月7日（日）

日程	場所	行事名
10月16日(土) ～17日(日)	小ホール	白清会（池坊、小原、龍生）合同で催す花展
10月16日(土) ～17日(日)	まほらホール	福島県立田村高等学校 吹奏楽部
10月19日(火) ～21日(木)	ホワイエ 小ホール	第51回三春町高齢者作品展示会
10月21日(木) ～24日(日)	小ホール	第33回フォトクラブ舞鶴写真展
10月21日(木) ～24日(日)	ホワイエ	第43回三春美術展
10月21日(木) ～24日(日)	学習室C・D	「安里薫」と仲間たち展
10月26日(火)	小ホール	神道流吟詠会
10月29日(金) ～31日(日)	小ホール	数楽カフェ（in 三春）
10月30日(土) ～31日(日)	まほらホール	福島県立田村高等学校 合唱部
10月31日(日)	ホワイエ	三春おやこ劇場 おみせやさんごっこ+鑑賞会+活動紹介
11月2日(火) ～4日(木)	ホワイエ	三春町婦人会作品展
11月5日(金)	学習室C・D	三春俳句会 俳句大会
11月5日(金) ～7日(日)	小ホール	商工観光グループ 三春町産業PRコーナー

（５）青少年健全育成事業…21世紀の社会を形成する青少年に対し、家庭・学校・地域がそれぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら社会全体で青少年の健全育成を図る。

① 成人式

事業	人数	時期	内容	場所
成人式典	対象者 153名 出席者 121名 出席率 79.0%	令和4年1月9日	新成人を祝う式典開催 成人証書・祝辞集作成配付 ※時間短縮・来賓縮小など感 染症対策を講じ実施。	三春交流館「まほら」
動画配信		令和4年2月1日 ～2月28日	成人式の様子を動画にて配 信	YouTube 三春町公 式チャンネル

(6) 生涯学習情報提供…IT・広報等を有効に活用し、学習情報の効果的な提供を行う。

事業名	時 期
町広報・交流館機関紙「交流館ニュース」	発行、毎月 1 日
町ホームページ 交流館ホームページ	随時更新 随時更新
さくら湖自然観察ステーション 観察会の周知	三春まちづくり公社ホームページで広報 広報みはるで毎月の観察会を周知

3 多様な主体との連携・協働の推進

(1) 三春町国際交流協会との連携による国際交流事業の充実

姉妹都市交流…姉妹都市アメリカ合衆国ウィスコンシン州ライスレイク市との交流を通じ、町民の国際理解向上と町の国際化を推進し、「草の根」交流を深める。

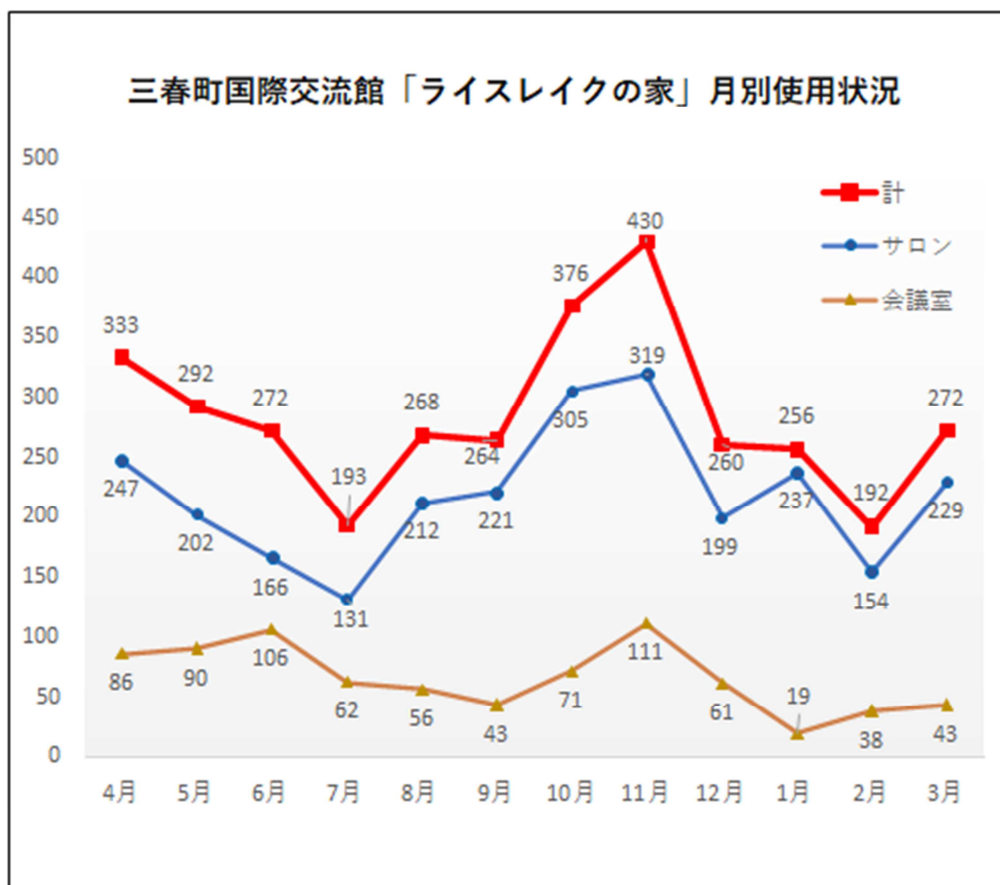
① 三春町青少年国際理解事業

事業名	時 期	内 容
三春町青少年国際理解プログラム	6 月	・第 1 回 講座 「アメリカから見た日本の文化」 講師 ジーナ・シーファー氏（三春町初代 ALT） 参加者 13 名
	7 月	・第 2 回 講座 2030 SDGs カードゲーム 講師 福島県国際交流協会 吾妻久氏 参加者 11 名
	8 月	・第 3 回 講座 英会話スキルアップ講座 講師 ジミー英語教育助手、ティート英語教育助手 参加者 11 名
	9 月 ～11 月	・第 4～6 回 講座 What is your Miharu? 講師 渡部友紀、小川智美 参加者 各回 12 名
田村高校とライスレイク高校のオンライン交流	4 月～2 月まで	田村高校において、朝 7 時 30 分より 40 分程度 Zoom によるオンライン交流を行った。（全 7 回；参加者 5～6 名）

② 「ライスレイクの家」 利用状況

(単位：人)

	サロン	会議室	計
4月	247	86	333
5月	202	90	292
6月	166	106	272
7月	131	62	193
8月	212	56	268
9月	221	43	264
10月	305	71	376
11月	319	111	430
12月	199	61	260
1月	237	19	256
2月	154	38	192
3月	229	43	272
計	2,622	786	3,408



※上記表及びグラフ中の「会議室」とは会議室の利用者数を、「サロン」とは自由来館者数を示す。

(2) 三春ダムや三春まちづくり公社等と連携し、自然や環境に関する学習及び研修の機会を提供

① 各種学習会・観察会の開催…主に自然観察ステーションを活動場所として学習会・観察会を開催

開催日	学習会・観察会等の名称・内容	参加者
4月18日	野鳥の巣箱作り	9名
5月16日	春の観察会	7名
5月22日	カブトムシの幼虫採取教室	20名
6月13日	陶芸教室（一般向）	9名
6月26日	草木染体験教室（子供むけ）	23名
6月27日	ゲンジボタル観察会	42名
7月17日	昆虫観察会	63名
7月24日	ムラサキキャベツで試験紙を作ろう	14名
8月22日	草木染め教室（藍・茜）	9名
10月23日	竹で作るおもちゃ	17名
11月21日	つるクラフト教室	9名
11月27日	葉脈しおり作り	6名
12月18日	クリスマスキャンドル	21名
12月19日	花炭作り体験	9名
4～11月 月2回	天体観察会（星を見る会等） （17回予定し、コロナ禍や雨天等により11回開催。）	36名
合 計		294名

② 三春ダム等と連携し、自然の豊かさを体験したり自然や環境に関する理解を深めるイベントを開催

事業名	時 期	人 数	内 容	場所・講師・対象者等
森と湖に親しむ さくら湖自然教室 2021	8月1日	参加者 91 名 スタッフ 20 名 合計 111 名	・コロナ禍の中、例年より、規模を縮小し、感染対策に留意しつつ実施した。4つのコースを30分程度で回ること、様々な体験活動ができるよう工夫した。 ・コース概要 ①昆虫観察、②木の実クラフト製作 ③水生生物観察④水質観察	・三春ダム管理事務所 駐車場 ・三春ダム周辺・大滝根川流域の小学生とその保護者
さくら湖自然環境フォーラム 2021	2月19日	会場 27 名 WEB 113 名 合計 140 名	テーマ：～20年を振り返る、そして次のステップへ～ 【第1部】研究報告・発表 (1) 研究発表 ①さくら湖の自然環境の変遷 ②さくら湖における最近の生態学術研究 (2) 発表 ③三春の生物と環境について ④三春町の水質について 【第2部】基調講演 ⑤自然環境を活用した地域の持続的な発展について	場所：まほらホール (WEBにて外部配信を実施) ①応用生態工学研究所 沖津二郎氏 ②(一財)水源環境センター 大杉奉功氏 ③、④田村高校「夢ゼミ」のみなさん ⑤環境省自然環境局自然環境計画課保全再生調整官兼課長補佐 羽井佐幸宏氏

③ さくら湖自然観察ステーションの利用状況

○展示室入場者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R3 人数	281	266	163	109	290	230	262	359	100	21	50	143	2,274	90.6%
R2 人数	175	86	168	331	332	229	370	339	33	45	174	227	2,509	

※見学等の申込者数に基づく集計（フリー見学は除く）としている。

○会議室利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R3 人数	180	151	171	365	136	79	184	208	191	51	97	218	2031	118.5%
R2 人数	18	31	80	199	198	56	391	93	145	97	179	227	1,714	

○天体ドーム利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
R3 人数	1	0	1	7	0	0	2	25					36	257.1%
R2 人数	中止		新型コロナウイルス 感染予防により自粛					14					14	

※冬期間（12月～3月）は「星を見る会」は実施していない。

④ さくら湖自然観察ステーションの管理状況（指定管理者「株式会社 三春まちづくり公社」）

項 目	時 期	内 容
さくら湖自然観察 ステーション管理 全般	4月1日 ～3月31日	- 施設の保全（軽微な補修を含む） - 自然観察ステーション企画運営委員により、自然・生物・星の観察等の学習会・イベントを開催 - 展示室・会議室・天体ドームの管理 - 指定管理料 7,400,000 円

(3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

- ・補助金等の交付 三春交流館運営協会 7,700,000 円
- ・交 付 目 的 三春交流館の有効活用を図り、芸術文化の創造と発信並びに交流事業に関する活動を通して、地域振興及び町民の生活文化の向上に寄与する。

月/日	公演名	出演者名	内容	料金	入場者数 (販売数)
6/12 (土)	三浦章宏&東誠三 デュオリサイタル	三浦章宏（ヴァイオリニスト） 東誠三（ピアニスト）	東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務める三浦章宏と三春交流館「まほら」でベートーヴェンの全 32 曲を 8 回に分けて演奏するといった異例の企画を成し遂げた東誠三によるデュオリサイタル	一般 3,000 円 高校生以下 1,500 円 ※当日 500 円 増	122 名 (122 枚)

9/12 (日)	小山実稚恵ピアノ リサイタル	小山実稚恵	チャイコフスキー、ショパンの二 大国際コンクールに入賞した唯 一の日本人演奏家である小山実 稚恵によるピアノリサイタル	一般 3,000 円 高校生以 下 1,500 円 ※当日 500 円 増	209 名 (203 枚)
11/1 4 (日)	三春町伝統文化公 演	見渡神社:斎藤 太々神楽保存 会 直毘神社:上舞 木神楽講保存 会	町内神社では、三匹獅子、長獅子、 太々神楽、太鼓などが氏子に受け継 がれている。 今回は三春町内の「太々神楽」を保 存継承している2団体による公演 。	無料	192 名
1/10 (月)	ニューイヤーコン サート2022 日本 フィルハーモニー 交響楽団	日本フィルハー モニー交響 楽団	2016年以来の出演となる日 本フィルハーモニー交響楽団と 新進気鋭の指揮者坂入健司郎氏 によるニューイヤーコンサート	一般 5,000 円 高校生以 下 2,000 円 ※当日 500 円 増	374 名 (366 枚)

4 多様な人材の幅広い活動の推進

三春町生涯学習人材ガイドの登録推進

- ・生涯学習に関わる豊かな知識や経験をもつ人材に対し「三春町生涯学習人材ガイド」に登録していただき、学習活動や地域活動を希望する町民に情報提供し生涯学習の促進を図ることを目的とした制度
- ・令和4年3月末現在登録者21名、利用実績2件。

5 生涯学習施設（所管分）の適正な維持管理と運営

(1) 三春交流館「まほら」維持管理

① 施設設備等保守業務

業務名	金 額
空調設備保守点検業務委託	5,153,500 円
昇降機保守点検業務委託	528,000 円
消防設備保守点検業務委託	451,000 円
建築物環境衛生管理技術者業務委託	413,600 円
自家用電気工作物保守管理業務委託	347,609 円
建築物・建築設備・防火設備定期報告業務委託	224,400 円
公共施設予約システム	1,210,000 円
その他業務委託	294,800 円
合 計	8,622,909 円

② 施設管理及び清掃業務

業務名	金 額
施設管理（夜間・休日）業務委託	2,779,909 円
清掃及び管理業務委託	1,967,262 円
臨時清掃業務委託	486,200 円
合 計	5,233,371 円

③ 舞台設備等保守管理業務

業務名	金 額
舞台技術者業務委託	10,211,454 円
舞台吊物等装置保守点検業務委託	1,261,700 円
舞台音響設備保守点検業務委託	814,000 円
舞台照明設備保守点検業務委託	698,500 円
ピアノ保守点検業務委託	333,300 円
合 計	13,318,954 円

④ 施設・舞台修繕

修繕名	金 額
木製建具修繕	216,700 円
ホワイエ多目的トイレ扉修繕	101,200 円
冷却塔ファンベルト修繕	74,800 円
小ホール天井照明器具安定期交換修繕	86,900 円
舞台倉庫系統エアコン修繕	621,500 円
舞台ダウンライト電源ケーブル修繕	227,700 円
まほらホール音響設備パワーアンプ修繕	473,000 円
ワイヤレスマイク受信機修繕	36,300 円
その他修繕	106,150 円
合 計	1,944,250 円

⑤ 工事

工事名	金 額
自家発電機設備修繕工事	2,750,000 円
空調設備自動制御部分改修工事	5,720,000 円
合 計	8,470,000 円

⑥ 備品購入

品名	金 額
折りたたみ椅子	120,780 円
ポータブルアンプセット購入	404,800 円
舞台音響用タブレット端末購入	71,500 円
大判プリンター購入	232,100 円
展示用パネル購入	784,960 円

ワイアレスマイク	80,960 円
舞台音響インカム設備購入	1,398,210 円
掃除機	42,350 円
その他	16,170 円
合 計	3,151,830 円

(2) 地区交流館 6 分館

沢石会館、要田交流館大平荘、御木沢地区公民館、岩江センター、中妻地区公民館、中郷地区交流館

① 施設等維持補修

修繕名	金 額
沢石会館水道漏水修繕	49,500 円
中妻地区公民館換気扇交換	59,400 円
岩江センター玄関風除室照明修繕	99,000 円
御木沢地区公民館女子トイレ給水管修繕	352,000 円
中妻地区公民館水抜きバルブ交換修繕	198,000 円
その他修繕 (8ヶ所)	112,200 円
合 計	870,100 円

② 施設設備等保守業務

業務名	金 額
空調設備保守管理業務委託	262,900 円
一般用電気工作物点検業務	226,600 円
消防設備保守点検業務	289,300 円
建築物・建築設備・防火設備定期報告業務	448,800 円
地区交流館等清掃業務	661,100 円
単独浄化槽保守点検業務	49,500 円
合 計	1,938,200 円

③ 施設改修工事

工事名	金 額
中郷地区交流館及び中郷幼稚園外壁改修工事	9,256,500 円
合 計	9,259,500 円

④ 備品購入

品名	金 額
中郷地区交流館キャビネット型グリル付コンロ購入	313,500 円
要田交流館大平荘カーテン等購入	320,100 円
要田交流館大平荘ガスコンロ購入	20,130 円
御木沢地区公民館ガステーブル購入	50,600 円
岩江センターファンヒーター	38,500 円
その他	63,760 円
合 計	806,590 円

6 三春交流館「まほら」、地区交流館利用状況

(1) 三春交流館「まほら」利用状況

施設区分	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
まほらホール	回数(回)	2	4	11	11	13	9	12
	人数(人)	145	607	929	860	2,165	892	1,026
	舞台のみ	回数(回)	0	1	3	9	5	7
		人数(人)	0	12	52	16	258	443
	客席のみ	回数(回)	0	1	8	3	9	5
		人数(人)	0	0	550	120	0	285
	ホワイエのみ	回数(回)	17	4	9	14	5	7
		人数(人)	796	92	102	714	101	1,048
交流広場	回数(回)	0	2	7	1	2	1	1
	人数(人)	0	205	150	170	180	110	200
小ホール	回数(回)	42	21	33	33	29	30	41
	人数(人)	530	144	256	247	404	168	943
楽屋A	回数(回)	14	13	25	24	15	13	23
	人数(人)	90	58	87	74	23	28	71
楽屋B	回数(回)	15	11	16	17	12	13	20
	人数(人)	107	120	37	60	38	46	65
学習室C	回数(回)	23	14	24	25	13	18	21
	人数(人)	218	111	202	171	106	127	246
学習室D	回数(回)	16	10	19	23	14	13	18
	人数(人)	41	28	47	52	35	27	45
和室E(大)	回数(回)	29	30	27	32	19	24	34
	人数(人)	316	273	258	300	193	249	313
和室F(小)	回数(回)	26	15	14	20	12	14	24
	人数(人)	25	0	0	6	0	0	0
計	回数(回)	184	126	196	205	152	152	220
	人数(人)	2,268	1,650	2,670	2,790	3,523	2,129	4,400

(2) 地区交流館利用状況

交流館名	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
沢石会館	回数(回)	16	3	11	10	9	9	9
	人数(人)	332	50	219	165	158	160	159
要田交流館 大平荘	回数(回)	12	5	5	9	9	10	15
	人数(人)	126	35	47	99	70	76	255
御木沢地区 公民館	回数(回)	11	2	8	7	4	4	7
	人数(人)	169	23	75	88	31	44	77
岩江センター	回数(回)	45	50	39	47	47	54	59
	人数(人)	1,586	192	155	195	220	248	1,154
中妻地区 公民館	回数(回)	29	21	30	27	21	30	30
	人数(人)	575	555	754	624	452	719	703
中郷地区 交流館	回数(回)	29	21	31	27	27	30	31
	人数(人)	588	453	641	601	519	612	682
計	回数(回)	142	102	124	127	117	137	151
	人数(人)	3,376	1,308	1,891	1,772	1,450	1,859	3,030

11月	12月	1月	2月	3月	R3年度 計a	R2年度 計b	比較c=a-b	
								%
12	11	10	2	3	100	76	24	31.6
1,691	1,222	860	115	528	11,040	6,614	4,426	66.9
3	2	2	0	1	35	21	14	66.7
92	98	9	0	17	1,093	444	649	146.2
3	2	0	0	1	37	24	13	54.2
0	0	0	0	0	955	259	696	268.7
17	9	5	7	12	120	116	4	3.4
1,330	278	5,045	96	284	10,007	6,001	4,006	66.8
2	1	2	0	1	20	13	7	53.8
220	150	30	0	8	1,423	1,744	△ 321	△ 18.4
37	37	30	23	44	400	371	29	7.8
570	438	291	190	466	4,647	4,671	△ 24	△ 0.5
22	20	17	9	17	212	209	3	1.4
143	39	57	45	57	772	960	△ 188	△ 19.6
19	16	18	4	16	177	171	6	3.5
96	67	84	22	81	823	880	△ 57	△ 6.5
27	23	13	18	22	241	202	39	19.3
202	150	64	156	198	1,951	1,715	236	13.8
19	18	10	8	18	186	174	12	6.9
45	63	21	12	54	470	661	△ 191	△ 28.9
33	25	23	15	31	322	299	23	7.7
304	214	201	92	296	3,009	2,877	132	4.6
22	18	15	11	18	209	220	△ 11	△ 5.0
6	3	3	0	7	50	23	27	117.4
216	182	145	97	184	2,059	1,896	163	8.6
4,699	2,722	6,665	728	1,996	36,240	26,849	9,391	35.0

11月	12月	1月	2月	3月	R3年度 計a	R2年度 計b	比較c=a-b	
								%
9	13	11	10	25	135	142	△ 7	△ 4.93
119	206	158	74	288	2,088	1,976	112	5.67
12	7	6	4	11	105	107	△ 2	△ 1.87
174	115	53	28	104	1,182	1,122	60	5.35
14	13	7	0	8	85	104	△ 19	△ 18.27
141	163	100	0	83	994	1,101	△ 107	△ 9.72
49	43	31	27	43	534	517	17	3.29
254	260	165	73	220	4,722	14,449	△ 9,727	△ 67.32
28	28	25	19	32	320	313	7	2.24
686	684	562	559	653	7,526	7,385	141	1.91
31	37	24	20	27	335	395	△ 60	△ 15.19
669	736	494	429	529	6,953	7,771	△ 818	△ 10.53
143	141	104	76	135	1,514	1,578	△ 64	△ 4.06
2,043	2,164	1,532	1,135	1,773	23,465	33,804	△ 10,339	△ 30.59

社会体育グループ

令和3年度重点施策の実施状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（スポーツの振興）

1 スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取組み

町の主要スポーツ大会等と位置付けていた、さくら湖マラソン大会、町民ソフトボール・家庭バレーボール大会とうつくしま・みずウオーク三春大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。

感染症の収束が見通せない状況ではあったが、スポーツ活動再開を支援するため、感染症対策を講じて、町営貝山プール開放、町民ソフトボール交流大会と4回の各種スポーツ教室を実施した。

さらに、町選手団を編成し、第15回市町村対抗軟式野球大会並びに第8回市町村対抗ソフトボール大会、第33回ふくしま駅伝に参加し、ふくしま駅伝は町の部6位・総合13位の成績を収めた。

また、学校体育施設開放事業により地域のスポーツ活動・交流の場を確保するとともに、町体育協会・町スポーツ少年団活動への支援を行った。

2 体育施設利用環境整備に関する取組み

体育施設を長寿命化させる取組みとして、町民体育館受変電設備改修工事を施工した。

また、三春町公共施設予約システムの導入に伴い、社会体育施設でもシステムを稼働し、利用者の利便性向上と事務の効率化を図った。

3 東京パラリンピック啓発事業

東京パラリンピック車いすラグビー競技銅メダリストの橋本勝也選手が町内小中学校8校を訪問し、児童生徒との交流と競技体験を通して、児童生徒がスポーツや運動により一層親しむとともに、アスリートの考え方や生き方に触れることにより、自己実現に向けての努力や困難に立ち向かう意欲を養った。

1 基本方針

- (1) スポーツを通して心身ともに健康な町民の育成を図る。
- (2) 町民のスポーツ振興・拡充の推進を図る。
- (3) 町民が広くスポーツに親しめる環境の充実を図る。

2 職員組織

主任主査1人、主査1人、主事2人、会計年度任用職員1人

3 令和3年度事務事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対応経過

期 間	対策方針	町の対応
年間随時	生涯学習課方針	・スポーツ団体に感染症対策徹底通知 ・社会体育施設内消毒・清掃等徹底
11月1日～	生涯学習課方針	町民体育館及び町民第2体育館収容人員を半分以上に設定（町民体育館280人、町民第2体育館110人）の措置を解除した。

期 間	対策方針	町の対応
令和4年 1月26日～ 3月6日	まん延防止等重点措置発 令	三春町体育協会加盟団体、三春町スポーツ少年団単 位団、学校体育施設開放登録団体に活動自粛要請

(2) 体育施設利用状況

施設名	3年度利用人数(人)	2年度利用人数(人)	備 考
① 三春町民体育館	12,424	11,071	
② 三春町民第2体育館	2,369	5,859	4月～9月 2月～3月 ワクチン集団接種 会場として使用
③ 三春町営運動場	4,433	3,114	
④ 三春町営野球場	4,739	4,811	
⑤ 三春町営テニスコート	11,694	10,507	
⑥ 三春町営貝山プール	494	626	
⑦ 三春町運動公園談話室	1,070	518	
⑧ 三春町営ボート場	524	453	
合 計	37,747	36,959	
		令和3年度歳入 体育施設使用料 1,855,490 円	

(3) 町民のスポーツ振興のためのスポーツ推進委員活動

① スポーツ推進委員名簿（任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日）

三瓶 清友	橋本 由香里	柳沼 孝則	渡邊 清平
飛田 直	渡辺 昭好	佐久間 伊一	近内 正一
過足 奈美	遠藤 美由紀	吉村 久美子	門馬 喜美子

② スポーツ推進委員活動

委員名	時 期	内 容
三春町 スポー ツ推進 委員	4月23日	第1回三春町スポーツ推進委員会議（委嘱状交付）
	6月1日	田村地方スポーツ推進委員連絡協議会監査会・役員会・総会（書面開催）
	7月11日	三春町スポーツ推進委員自主研修（レクリエーション、ボッチャ等）
	9月5日	三春町民ソフトボール交流大会協力
	10月3日	町民トレッキング教室講師

	時 期	内 容
	10 月 16 日	ニューススポーツ・レクリエーション教室講師
	11 月 26 日	第 2 回三春町スポーツ推進委員会議（当年度事業報告、次年度事業計画）
	2 月 4 日	第 3 回三春町スポーツ推進委員会議（書面開催）
合計出席（延べ）人数		委員報酬 18 人 104,400 円 委員報償 15 人 45,000 円

（４）社会体育団体の育成及び支援

団体名	団体数	加入者（人）	内 容
三春町体育協会	13	1,017	各協会単位で各種大会を開催し、事業を展開。 町実施事業への後援・参加協力。 町補助金 220,000 円 町交付金 600,000 円
三春町スポーツ少年団	15	指導者：129 団 員：302	国・県スポーツ少年団に登録し、各単位団で各種大会を開催し、団員の健全育成を図る。 町補助金 397,100 円 町交付金 1,595,000 円

（５）各種スポーツ大会等

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者・決算額
第 24 回さくら湖マラソン大会	—	6 月 13 日	令和 3 年度は大会開催中止とし、第 24 回大会を令和 4 年度に延期した。	中郷学校及び三春ダム周辺 主催：さくら湖マラソン大会実行委員会
第 74 回県総合体育大会田村地方予選大会 県中地域大会	—	7 月 11 日 8 月 22 日	開催中止	
町営貝山プール開放	494 人	7 月 27 日 ～ 8 月 24 日	夏季休業中開放 営業日数 25 日のうち、天候不順等により 10 日間の半日ずつを休場とした。	町営プール監視業務委託料 2,974,400 円 町営プール循環装置保守点検業務委託料 309,100 円
第 44 回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会	—	9 月 5 日	令和 3 年度は大会開催中止とし、第 44 回大会を令和 4 年度に延期した。	
三春町民ソフトボール交流大会	76 人	9 月 5 日	町民ソフトボール大会の代替として、参加希望 4 チームによる交流大会を実施した。	審判報償 60,000 円
第 15 回市町村対抗福島県軟式野球大会	30 人	9 月 12 日	1 回戦：飯舘村 4 対 5（敗退）	主催：福島民報社 県下 59 チーム参加 出場町報償 150,000 円

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者等・決算額
うつくしま・みずウオーク 2021 三春大会	—	9 月 11 日	福島県まん延防止等重点措置発令のため開催中止	さくら湖周辺 主催：みずウオーク実行委員会 町補助金 146,000 円
三春町民トレッキング教室	25 人	10 月 3 日	町スポーツ推進委員講師	あだたら遊歩道 (二本松市)
ニューススポーツ・レクリエーション教室	26 人	10 月 16 日	町スポーツ推進委員講師 ボッチャ、ワナゲ等の体験会を実施	三春町民第 2 体育館
第 8 回市町村対抗福島県ソフトボール大会	30 人	10 月 24 日	2 回戦（初戦）：矢吹町 3 対 9（敗退）	主催：福島民報社 県下 55 チーム参加 出場町報償 150,000 円
第 33 回ふくしま駅伝	28 人	11 月 21 日	町の部 6 位 総合 13 位	白河～福島 (16 区間、95.0km) 主催：福島民報社 出場町報償 150,000 円 町交付金 1,250,000 円
東京パラリンピック啓発事業	町内全小中学校児童生徒	9 月～12 月	東京パラリンピック車いすラグビー競技銅メダリスト橋本勝也選手が町内小中学校 8 校を訪問し、児童生徒と交流し、また競技体験を実施した。	
三春町民スキー教室	28 人	1 月 16 日	町内在住・在学者、スポーツ少年団団員	沼尻スキー場（猪苗代町） 講師報償 46,400 円
第 11 回魁春旗争奪全国高等学校選抜柔道錬成三春大会	全国高校 13 校	3 月 27 日～30 日	高校柔道のレベルアップ	三春町民体育館 主催：全国高等学校選抜柔道錬成三春大会実行委員会 町交付金 800,000 円

（６）社会体育施設の補修・修繕整備

工事（業務）名	請負金額	工 期	内 容	請 負 者
三春町民体育館受変電設備改修工事	9,722,900 円 (起債歳入充当：8,700 千円)	R3. 6. 24 ～ R3. 11. 30	キュービクル 1 基更新 外	本田電設(株)
三春町民体育館天井吊りボルト交換工事	5,610,000 円 (起債歳入充当：5,600 千円)	R3. 7. 21 ～ R3. 10. 29	天井吊りボルト 100 箇所交換、天井振止設置 36 箇所 外	(株)菊地住建
三春町運動公園駐車場区画線再設置工事	638,000 円	R3. 6. 25 ～ R3. 7. 21	駐車場白線引き直し 1,088.3m 外	(有)信和創建

工事（業務）名	請負金額	工 期	内 容	請 負 者
三春町営貝山プール循環浄化装置ろ過砂交換業務委託	957,000 円	R3.4.22 ～ R3.5.31	既存ろ過砂処分、ろ過砂充填業務 外	(有)フロックス
施設等応急修繕 (19件)	1,401,896 円	年間随時	各施設等修繕対応	(株)ワタナベ建装 外

(7) 社会体育施設の管理運営

事業・業務委託等	時 期	内 容	場 所	委託等内容
町民体育館清掃及び管理業務委託	通年	体育館清掃、運動公園草刈及び夜間施設管理業務	町民体育館、町民第2体育館、運動公園内	(公社) 三春町シルバー人材センター 3,515,702 円
運動公園等草刈業務委託	7～9月	雑草刈払い	運動公園内、町営ボート場敷地内	(公社) 三春町シルバー人材センター 485,485 円
学校体育施設開放事業	通年	町内小中学校(8校)の体育館及びグラウンドを各登録団体(46団体)に開放	体育館及びグラウンド	管理員報償 7人 420,000 円

(8) 体育施設利用環境整備に関する取組み

令和4年3月1日からの三春町公共施設予約システム開始に伴い、社会体育施設でもシステムを導入し利用を開始した。

- ・令和4年3月31日現在：利用登録団体数105団体（生涯学習・スポーツ団体、個人）

令和 3 年度重点施策の実施状況

豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取り組み

1 文化財保護の推進・支援

(1) 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する。

滝ザクラ周囲の草刈りや施肥等を地元の滝桜保存会に委託し、病害虫の発生や雪害に対する巡視等を専門業者に委託して一年間を通じた管理を実施した。

(2) 指定文化財等を保存・管理する。

① 町指定天然記念物「南成田の大桜」について、保全対策工事として周辺の竹木伐採・抜根と保護柵を設置した。また、隣接する土地の寄附を受け、見学路の計画を変更した。

② 国登録有形文化財「旧吉田家住宅紫雲閣」の修繕事業として、修繕工事設計業務（6月24日～12月25日）を実施し、修繕工事（2月22日～令和5年3月31日）に着手した。

③ 令和3年2月の地震により町指定民俗文化財「三春大神宮奉納白馬像」の左後脚が破損したため、その修繕を支援した。

④ 開発に先立ち1遺跡で試掘調査、1遺跡で工事への立ち合いを行い、事業との調整を図った。

⑤ 三春城 VR 作成事業（産業課所管）へ、資料の提供などで協力した。

⑥ 民俗芸能等を継承保存する町内15団体に、交付金による支援を行った。

2 文化財の保存・公開施設の管理運営

① 歴史民俗資料館の受変電設備をはじめ、消防施設（消火水槽）、展示室の照明等を修繕し、施設の維持・管理に努めた。

② 郷土人形館の空調機器を、換気機能付きのものに更新した。

3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

① 三春城と城下町を取り上げた企画展等を開催した。

② 新たな資料を収集するとともに、その整理を行い、貸出し・閲覧等に供した。

③ 展示解説や講座を開催するとともに、出前講座や講師の派遣等に対応した。

1 運営方針

地域の歴史・文化遺産を調査し、次の世代に伝えるために保存の措置を講じ、活用を推進するとともに、それらの情報を分りやすく発信することで、町民の文化への関心や生涯学習の意欲を高める支援をする。

2 職員組織

主幹兼館長 1 人 主幹兼副館長 1 人、主査 2 人 会計年度任用職員 3 人

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会（委員 5 名）

会議等名	時 期	場 所 等	内 容 等
第 1 回 会 議	5 月 18 日	紙面開催	会長・副会長の選出、令和 3 年度文化財保護事業計画について

会議等名	時 期	場 所 等	内 容 等
第 2 回 会 議	12 月 17 日	三春交流館 学習室 C	令和 3 年度文化財保護事業、令和 4 年度文化財保護事業計画について
文化財 防火査察	1 月 23 日	三春地区	旧吉田家住宅（大町）、愛宕神社（中町）での防火査察に協力した。
第 3 回 会 議	3 月 25 日	資料館 研修室	令和 3 年度文化財保護事業について

（２）滝ザクラの保護保存事業

事 業 名	時 期	内 容
巡視	随時	経常的な巡視のほかに、特に大雨、強風、積雪時に巡視実施をした。
管理施肥業務委託	通年	地元の滝桜保存会に、年 5 回程度の草刈りと堆肥の作成・施肥（12 月 12 日）、巡視・通報を委託（150,000 円）。
雪害・病虫害予防巡視及び除雪作業委託	通年	専門業者に、月 1 回の病虫害発生状況の確認と積雪時の巡視、着雪時の雪下ろし作業を委託（巡視 12 回、92,400 円）
中郷小学校「滝桜を守る会」	6 月 23 日	中郷小学校児童による滝ザクラの種子採取作業を指導・協力した。
支柱修繕工事	3 月 29～31 日	令和 4 年 3 月に発生した地震による支柱のずれ等の修繕を実施した（264,000 円）。

（３）指定文化財等の保存・管理事業

事 業 名	時 期	内 容 等
指定文化財の管理	通年	主に屋外に所在する文化財を随時巡視した。
南成田の大桜管理 施肥業務委託	通年	地元の「南成田の大桜を守る会」に、草刈りと施肥等管理業務を委託（80,000 円）。なお、隣接する土地 341 m ² の寄附を受けた。
三春城 VR 作成事業への協力	通年 (2 月完成)	産業課が所管する三春城の VR 作成事業に資料を提供するほか、ホームページの開設に協力した。
南成田の大桜保全 対策工事	11 月 1 日～ 2 月 28 日	桜の生育に影響を与える周辺の竹木を伐採・抜根し、樹周囲に柵を設置（事業費 1,064,800 円、内 203,280 円県森林環境交付金）。
三春大神宮奉納白 馬像修繕への補助 金交付	10 月 12 日	令和 3 年 2 月の地震で折れた脚の修繕について、補助金による支援を行った（56,760 円※対象事業費の 100 分の 30 以内）。
文化財防火デー防 火査察	1 月 23 日	田村消防署、三春町消防団と、旧吉田家住宅（大町）、愛宕神社（中町）で、各管理者の立会いのもとで防火査察を実施した。
文化財案内板の修 理	2 月	龍穩院の案内板 1 基を修理した（30,800 円）。
文化伝承館案内リ ーフレット制作	3 月	文化伝承館（旧吉田家住宅主屋・紫雲閣）の案内リーフレット制作を、郡山女子大学長田研究室に委託した（5,000 部、110,000 円）。

（４）埋蔵文化財保護事業

事 業 名	時 期	内 容 等
埋蔵文化財包蔵地 照会確認業務	通年	工事や土地取引に際して、78 件 84 箇所への照会に回答した（このうち 7 箇所が遺跡に該当し、現況を確認し計画変更等を依頼）。
下舞木石崎地内試 掘調査	3 月 1 日	郡山市の遺跡台帳で舞木四合田遺跡の範囲とされている箇所が開発計画があり、試掘調査を行った。遺物や遺構は発見されず、調査地については遺跡はなかった。

(5) 文化財保護保存団体育成事業（団体の育成、文化財の継承を目的に、各2万円を交付）

団 体 名	地 区	対象文化財等
垢潜奉新会	富沢	町文化財・垢潜三匹獅子舞（火雷、天日鷲神社）
田村大元神社三匹獅子舞保存会	新町	町文化財・田村大元神社の三匹獅子舞
高木神社三匹獅子舞保存会	実沢	町文化財・高木神社の三匹獅子舞
樋渡三匹獅子舞保存会	樋渡	町文化財・樋渡の三匹獅子舞（樋渡神社）
荒獅子保存会	荒町	町文化財・八雲神社の長獅子舞
田村大元神社別火講中	新町	町文化財・田村大元神社の長獅子舞
八幡町若連	八幡町	町文化財・八幡神社の長獅子舞
斎藤太々神楽保存会	斎藤	町文化財・斎藤の太々神楽（見渡神社）
上舞木御神楽講保存会	上舞木	町文化財・直毘神社の太々神楽
巖島神社榊講社	御祭	巖島神社の太々神楽
三輪神社神楽保存会	庄司	笹山神社の太々神楽
大町太鼓保存会	大町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子
中町若連会	中町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子
西方若連会	西方	町文化財・西方の水かけまつり
中妻文化財を守る会	中妻	地区内の文化財全般の保護

4 資料館等管理運営事業

(1) 歴史民俗資料館運営協議会（委員7名）

会議等名	時 期	場所等	内 容 等
第1回 会 議	5月28日	紙面開催	会長・副会長の選出、令和3年度事業計画について
第2回 会 議	12月8日	資料館研修室	令和3年度事業経過、令和4年度事業計画について
第3回 会 議	3月25日	三春交流館 学習室C・D	令和3年度事業報告について

(2) 施設管理・運営（資料館、人形館、伝承館）

施設名	時 期	内 容 等
歴史民俗資料館	通年	・周辺環境管理業務委託（草刈・館外清掃等）413,050円 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 162,386円 ・浄化槽清掃保守点検管理業務委託 28,160円 ・空調機保守点検業務委託 203,500円 ・自動ドア保守点検業務委託 42,900円 ・特別収蔵庫消火設備保守点検業務委託 66,000円
	4月	消防設備修繕（消火水槽） 143,000円
	6月21日～6月25日	燻蒸等業務委託 1,782,000円
	6月	常設展復元民家照明修繕 128,700円
	8月	特別収蔵庫エアコン室外機洗浄 22,000円
	9月	浄化槽清掃 89,980円
	1月	2階展示スペース照明交換修繕（LED化） 297,000円
	2月	特別収蔵庫蒸気加湿用シリンダー交換修繕 72,600円
	2月	受変電設備改修工事 1,342,000円

施設名	時 期	内 容 等
資料館・人形館	通年	・消防設備保守点検業務委託 138,600 円 ・機械警備業務委託 224,400 円
	3 月	臨時清掃業務委託（ガラス、床面等の清掃） 108,900 円
郷土人形館	通年	・管理業務委託（1 月～2 月は冬期休館） 1,428,680 円 ・一般用電気工作物保安管理業務委託 35,200 円
	5 月	2 号館休憩スペース照明交換 5,500 円
	6 月	エアコン設置工事（各館各階計 4 台を換気機能付きのものに取替） 3,113,000 円
	3 月	電気設備修繕（コンセント） 7,700 円
文化伝承館	通年	管理業務委託（生涯学習支援ボランティアの会、12 月～2 月は冬期休館） 547,200 円
	土日祝日等	管理業務委託（三春町シルバー人材センター） 683,320 円
	6 月	紫雲閣開口部補強修繕 22,000 円

（3）友の会活動支援（個人会員 123 名 賛助会員 1 団体）

事業名	時 期	内 容 等	参加者数
学習会	通年 12 回	歴史講話 2 回、史跡散策、展示解説 2 回、町文化祭合同展示出展、吉田家住宅活用イベント・雪村シンポジウム・福島県史学会研究報告会・三春町伝統文化公演参加	延べ 158 人
グループ活動	通年	方言を学ぶ会（計 5 回）	延べ 40 人
		縄文土器を作る会（計 20 回）	延べ 86 人
		つるし飾りを作る会（計 4 回）	延べ 16 人
		三春の歴史を知ろう 歴史紙芝居を作る会（計 17 回）	延べ 75 人

5 展示・学芸事業

（1）歴史民俗資料館・自由民権記念館常設展・企画展（年間入館者 4,505 人、入館料 665,620 円）

展示名	期 間	内 容 等	入館者数
春季企画展「探検！三春城と城下町」	4 月 10 日 ～ 5 月 30 日	三春城と城下町をテーマに、実物資料に加えて、絵図の複製やグラフを使って解説。	1,018 人
第 2 回企画展「三春と戦争～戦争の世紀の子どもたち～」	7 月 31 日 ～ 11 月 7 日	近代の戦争について、三春小学校の資料等で紹介。	1,389 人
冬季企画展「河野広中の書一無得居士の揮毫」	1 月 15 日 ～ 3 月 13 日	河野広中の没後 100 年を前に、河野の揮毫や筆記用具等を展示。	466 人
常設展「きのうの三春・はるかな三春」	通年	縄文時代から明治維新までの歴史資料と、城下町や周辺農村の民俗資料から、三春の歴史・文化を紹介する。	※1,632 人
自由民権記念館（常設展）	通年	明治時代の自由民権運動について、三春出身の自由民権運動家を顕彰する展示。	
福島県民の日	8 月 21 日	福島県民の日を記念した無料開放日	資料館 12 人 人形館 1 人
東北文化の日	10 月 30 日	東北文化の日を記念した無料開放日	資料館 26 人 人形館 4 人

※企画展等開催期間以外の入館者数

(2) 郷土人形館、文化伝承館展示

展示名	期 間	内 容 等	入館者数
郷土人形館常設展	通年（12～2月冬期休館）	昭和初期に東北地方の郷土玩具を収集した「らっこコレクション」を2棟の土蔵で展示。入館料 116,800 円（友の会の 36,900 円を含む）	407 人
文化伝承館常設展	通年（12～2月冬期休館）	明治時代の生糸商・吉田氏の住宅と離れ「紫雲閣」を公開。但し紫雲閣は劣化により公開中止。団体等での利用が5団体6回、写真撮影での利用3回。	1,163 人
つるし飾り作品展	3月～5月	生涯学習支援ボランティアの会の作品を文化伝承館の広間等に展示した。	
三春たてもの探検2021	10月10日	郡山女子大学が企画・運営し、県左官業組合連合会の協力による古建築活用事業。	151 名

(3) 資料の収集・管理・整理事業

事業名	内 容 等
資料の収集	新規寄贈 10 件
収蔵資料の管理	寄託更新事務（11 件を更新、内 1 件を返却）
収蔵資料の貸出（出展）	・福島県立博物館（守札「津島神社御守 天形星王 芹ヶ澤村」1 点） ・福島県立美術館、ほか（人形等 55 件）
写真の貸出・掲載	出版社・研究者等 7 件
資料の閲覧・撮影	研究者等 4 件

(4) 各種講座の開催

事業名	時 期	内 容
体験講座	夏季・町文化祭	・夏季体験講座①「古代のアクセサリまが玉を作ろう」（7月21日～8月22日 42人） ・夏季体験講座②「縄文土器を作ろう」（8月9日 8人） ・縄文土器野焼き（10月16日 14人） ・三春町文化祭まが玉作り（11月5日～7日、16人）
依頼（出前）講座	随時（7件）	町内外の生涯学習等団体の依頼による歴史講話
展示解説	随時（9件）	各種団体の依頼により常設展・企画展等を展示解説
町内学校学習支援	随時（19件）	町内小中学校、高校の教育課程による展示解説

6 新型コロナウイルス感染症対策

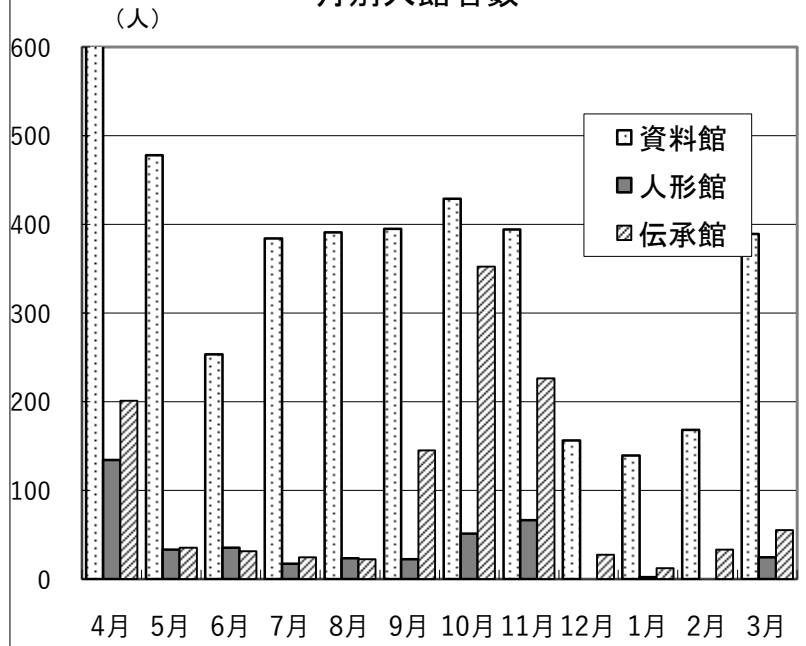
施 設 名	対 策 内 容
資料館・人形館・伝承館共通	・施設管理チェックシートにより、感染症対策を実施 ・入口に来館者への感染症対策依頼文を掲示、ホームページにも掲載 ・手指消毒用アルコールを配置 ・手すり等を清掃用エタノールで随時ふき取り ・適宜、換気を実施 ・入館者に、健康状態と連絡先を記録票に記載するよう依頼
資料館	・飛沫対策のスクリーンを設置（カウンター及び事務室内） ・トレイを介して入館料等の収受を実施 ・休憩室の利用停止 ・来館者用ソファの分散 ・研修室は、換気し、座席の間隔を空け、適宜パーテーションを設置して使用
人形館	・飛沫対策のスクリーンをカウンターに設置 ・トレイを介して入館料等の収受を実施 ・休憩スペースの利用停止 ・換気機能付空調機を設置

令和3年度 施設利用状況報告

◎月別入館者数 (単位:人)

	資料館	人形館	伝承館	計
4月	929	134	201	1,264
5月	478	33	35	546
6月	253	35	31	319
7月	384	17	24	425
8月	391	23	22	436
9月	395	22	145	562
10月	429	51	352	832
11月	394	66	226	686
12月	156	0	27	183
1月	139	2	12	153
2月	168	0	33	201
3月	389	24	55	468
計	4,505	407	1,163	6,075

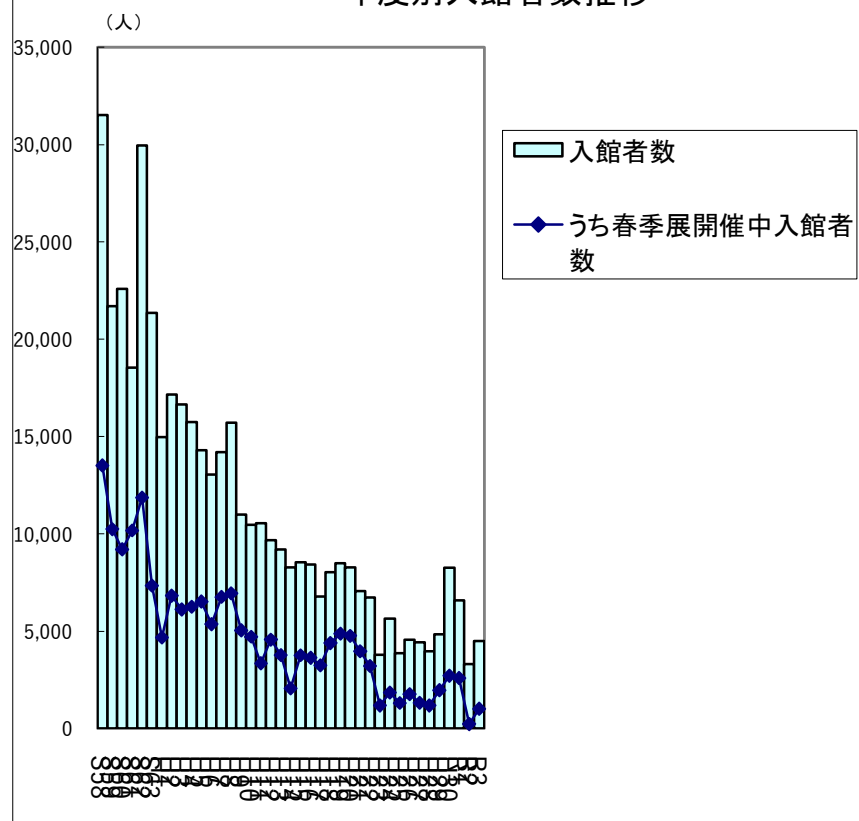
月別入館者数



◎資料館年度別入館者数(単位:人)

	入館者数	うち春季展 開催中入	春季展テ マ
S58	31,515	13,515	雪村
S59	21,696	10,241	みちのくの古人形
S60	22,596	9,202	安東・秋田氏展
S61	18,544	10,179	三春の自由民権運動
S62	29,947	11,868	三春田村氏と伊達政宗
S63	21,358	7,344	松下氏三春への道
H1	14,972	4,677	縄文の石と折り
H2	17,158	6,824	三春藩
H3	16,647	6,116	三春真照寺
H4	15,746	6,260	三春高乾院
H5	14,307	6,526	三春福聚寺
H6	13,051	5,361	三春法蔵寺
H7	14,195	6,760	女性の粧い
H8	15,709	6,949	三春の浄土宗
H9	10,996	5,047	大滝横川流域の道跡
H10	10,462	4,718	三春城と城下町
H11	10,553	3,345	近代三春の夜明け
H12	9,680	4,568	丈六焼
H13	9,207	3,771	三春人形と木型
H14	8,288	2,061	復興で見る自由民権運動
H15	8,535	3,764	三春藩主秋田氏
H16	8,433	3,641	三春城と仙道の城
H17	6,787	3,250	春陽の士
H18	8,035	4,397	田村大元神社
H19	8,489	4,870	さくら咲く
H20	8,286	4,765	春が来た
H21	7,059	3,970	花咲く里
H22	6,736	3,210	三春人形が結ぶ絆
H23	3,787	1,189	家を継ぐ
H24	5,644	1,846	愛姫と三春の姫君
H25	3,871	1,313	藩校から学校へ
H26	4,561	1,769	三春の春彩々
H27	4,445	1,326	手わざと三春
H28	3,975	1,183	鎌田悌次郎
H29	4,850	1,976	大高正人
H30	8,268	2,715	愛姫
R1	6,580	2,596	石塚省三
R2	3,312	233	ハコ—何を入れたの
R3	4,505	1,018	探検！三春城と城下町
累計	442,785	184,363	

年度別入館者数推移



累計入館者数

10万人
20万人
30万人
40万人

昭和62年度(1987) 開館5年目
平成4年度(1992) 開館11年目
平成12年度(2000) 開館18年目
平成25年度(2013) 開館31年目

令和3年度重点事業施策の実施状況

豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取組み

生涯学習・文化環境の充実

教育大綱第1期に基づく運営

(1) 図書館活用推進（大綱施策1）

- ・ 平日の開館時間を1時間延長し、利用者に親しまれる環境づくりに努めた。
- ・ 桜ホールに出張コーナーを設置し、除籍本・寄贈本を定期的に町民に提供した。
また、郷土資料コーナーとして三春町史全11巻ほか行政資料を配架し、桜ホールでの閲覧利用を開始し、図書資料の利活用を推進した。

(2) 各地域へのサービス充実（大綱施策4）

- ・ いつも身近に本がある環境の充実を図るため、4地区交流館図書室でのテーマ展示を行い（年4回入替え）、地区交流館図書室の利活用を推進した。

(3) 学校との連携・学習支援（大綱施策5）

- ・ 図書館ボランティアの協力のもと、教育機関との連携を図り、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策をしながら、おはなし会や図書館行事を実施した。

1 基本方針

- (1) みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす。
- (2) 利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく。
- (3) 三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。
- (4) 各地域へのサービス体系を整備する。
- (5) 学校との連携を図り、学習への支援を行っていく。

2 図書館組織

総括主幹兼館長1人 主幹2人 会計年度任用職員3人 計6人(内司書4人)

3 図書館事業

(1) 図書館業務にかかる職員研修、会議

- ①Zoomによる研修・研究集会 4回 参加者：職員5名
- ②Zoomによる会議（県公共図書館協会担当者会議） 3回 参加者：職員3名

(2) 三春町民図書館協議会

三春町民図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。

役職	委員名	初期任命日	任 期
委員長	堀 江 恵 子	H18. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
副委員長	宗 像 美	H22. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	小 山 保 子	H26. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	橋 本 清 二	H30. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	白 石 修 子	R3. 4. 1	第16期 R3. 4. 1～R4. 3. 31

会議等名	月/日	場所等	内 容
第1回定例会	6/16	国際交流館 「ライスレイクの家」	○令和2年度三春町民図書館事業報告について ○三春町民図書館要覧（令和3年度版）（案）について ○その他
第2回定例会	11/17	国際交流館 「ライスレイクの家」	○令和3年度前期三春町民図書館事業報告について ○令和4年度三春町民図書館運営計画について ○その他
第3回定例会	2/16	書面会議	○令和4年度三春町民図書館事業計画について ○三春町民図書館蔵書規模抑制方針について ○三春町民図書館資料除籍及び廃棄・データ削除事務要領について ○その他（意見聴取）

（3）図書館ボランティア

図書館ボランティア名簿登録者による図書館事業への活用を実施。

1）図書館ボランティアの会議等

- ・「図書館ボランティアの会」読み聞かせ班打ち合わせ（毎月第3木曜日実施）
わんぱくクラブへの出前おはなし会終了後に、次回話し手当番等を打合せ
- ・ボランティア全体会：令和4年3月22日実施 11名出席
令和3年度の事業報告と、次年度の計画について

2）「図書館ボランティアの会」の活動

①読み聞かせ班

後記「読書推進事業」の「出前おはなし会」協力

②制作班：活動日 毎月第3金曜日

令和3年度活動実績

実施数	活動者数（人）	内 容
6	23	・手袋えほん、手袋おもちゃ ・うちわ作品

3）布絵本グループの活動

活動日：毎月第2、第4金曜日

令和3年度活動実績：7回・40人 『うたの絵本』制作

4）「生涯学習支援ボランティアの会」の活動

活動内容：書架整理

活動日：毎月第2、第4水曜日

令和3年度活動実績：23回・79人

5）個人活動

- ・生け花：随時、図書館入り口に季節の花を生けている。 51回

4 読書活動推進事業

(1) 読書活動事業

1) 館内おはなし会〔ミニおはなし会、絵本とわらべ唄〕

実施計画： ミニおはなし会 随時 職員のみ
 絵本とわらべ唄 毎月第2火曜日11:00 職員のみ

	計画数	実施数	来場数 (人)	備考
ミニおはなし会		7	154	中郷幼、岩江小、富岡第一・第二小、三春小、中郷小、中妻小、第1保
絵本とわらべ唄	12	2	4	

2) 出前おはなし会

ボランティア協力あり

各種団体からの依頼を受け、職員とボランティアが各施設に出向いて実施。

保育所、幼稚園、子育て支援センター、小学校等

依頼者	回数	参加人数 (人)
①保育所、幼稚園、子育て支援センター等	22	584
内訳 ・町立保育所、幼稚園	11	500
・子育て支援センター、ママカフェ、育児サークル	9	82
・町立以外の幼稚園（富岡幼稚園）	2	2
②児童生活センターほか	18	328
内訳 ・児童生活センターわんぱくクラブ	9	202
・岩江児童クラブ	1	29
・私立施設（ひかり三春教室）	8	97
③小学校（岩江・中妻・中郷・御木沢・沢石）	22	389
計	62	1,301

3) 図書館フェスティバル事業

秋の読書週間及び三春町文化祭に合わせ、町民の読書意欲と図書館への関心を刺激することを目的に実施しました。

事業名	実施日・場所	内 容 等	参加数等
古本リユース市	R3. 10. 26(火) ～10. 31(日) 三春町民図書館	・持寄り提供数：7件、172冊 ・図書館への年間寄贈分から 288冊	提供冊数 460冊
秋のとしょかん福袋	R3. 10. 26(火) ～10. 31(日) 三春町民図書館	・テーマ毎に選んだおすすめの本を2～3冊を1パックにして貸し出す。 ・14パック準備	利用 11件
特別おはなし会	R3. 10. 30(土) 三春町民図書館 カウンター前	演者：ボランティア5名、職員1名 館内おはなし会の拡大版	参加数 24人

4) ブックスタート事業

乳幼児と保護者を対象に「ブックスタートパック」（図書館利用案内等資料、絵本1冊、トートバッグ）を配布しています。

・配布方法、実績

司書が毎月3・4か月児健診時に保健センターへ出向き、保護者へブックスタート事業の内容を説明したり、読み聞かせの実演をしながら配布。

【実績】12回 75セット

5) 朗読講習会

平成30年度からの企画。昨年度からは図書館ボランティアの会との共催で、声に出して読むことの楽しさを学習する会。

○開催回数、参加者

- ・開催時期と回数 7月から11月 全5回
- ・参加者数 14名

6) その他の読書推進活動

① 例月展示テーマ(下記)を設定し、館内におすすめ資料を展示(70~90冊)

月	テーマ	月	テーマ
4月	桜	10月	リサイクルの日
5月	こどもの読書週間	11月	宝石の日
6月	梅雨	12月	年越し
7月	オリンピック・パラリンピック	1月	囲碁の日・室内ゲーム
8月	俳句の日	2月	猫の日
9月	宇宙の日	3月	自殺対策強化月間(保健福祉課の依頼により)

② ミニ展示テーマ設定(随時)(20~30冊)

【コーナー配置場所：雑誌コーナーの隣、ロッカーの上】

「橋田壽賀子さん」、「田部井淳子さん」、「明智光秀」、「The Beatles」、「幽霊の日」、「没後40年向田邦子」、「篠田桃紅さん」、「認知症(アルツハイマー月間)」、「東日本大震災から11年」など

【コーナー配置場所：児童書コーナー内】

「生誕100年滝平二郎さん」、「大好き!アイスクリーム」、「おにぎり」、「SDG'sって何だろう?」、「宿題」、「バスにのってどこいくの?」、「こぐまちゃんえほん」シリーズ、「トラ!寅!とら!」など

③ 各種リストなど資料PR物作成

館内、役場「桜ホール」、各地区交流館図書室に配置。図書館ホームページに掲載 ほか

- ・新着本/展示資料リスト：毎月発行、一般書と児童書に区分
- ・調べ物ガイド：リサイクル(改訂版)
- ・「歯と口の健康週間」「食育月間」へのブックリスト提供
(保健福祉課からの依頼により作成、提供)

④ 出張展示(随時)

交流館まほらでの開催行事に参加。

- ・7月18日 三春おやこ劇場「サイレント・コメディ・マジック」
- ・9月26日 三春おやこ劇場「こまのサーカス」
- ・2月26日 三春おやこ劇場「はたけうた」

⑤ 季節飾り

- ・読書の滝桜：4月7日から5月2日まで(館内)

(2) 関係機関とのネットワーク事業

1) 他図書館等との相互協力

- ・国立国会図書館、全国公共図書館、福島県立図書館、福島県内公共図書館との相互貸借や情報共有、研修会参加など

2) 三春町内関係機関との連携事業

①各地区交流館図書室の資料管理

- ・毎月、職員が巡回し、本館の情報提供や図書室の資料整備を実施。
- ・御木沢、沢石、中妻、中郷地区館でのテーマ展示（各館4回更新）
テーマ：「地域資料」&すきま時間に読めるもの／新生活を楽しもう／
高齢者の交通安全・防犯／三春町関連資料&手作りにチャレンジ／
人と人のつながり／「書」に親しむ など
※高齢者学級の学習テーマと連携

②保健福祉課・社協との連携

- ・「世界アルツハイマー月間」展示への書影提供、展示協力

③企画政策課との連携

- ・「震災を風化させない」展示会への書影提供、展示協力

④各教育機関への巡回文庫貸出

小学校、幼稚園及び児童関連施設への読書活動援助のため、各施設を巡回し、配本・回収を行った。

- ・巡回先:町立小学校6箇所、町立幼・保5箇所、三春幼保園、児童クラブ2箇所、子育て支援センター

- ・配本数:小学校 220冊、幼稚園・保育所 120冊、児童クラブ 100冊、子育て支援センター 50冊

- ・巡回日 1回目:6/22-25 2回目:10/20-22 3回目:2/15-18

⑤ 図書館見学受入

- ・町内小学校児童（主に2年生）

三春小43名、岩江小38名、中妻小15名、中郷小8名、沢石小5名

- ・中郷幼稚園児（3～5歳）15名、岩江幼稚園児（3歳）17名

- ・富岡小4名

(3) 図書館管理、運営

1) 施設管理

随時、関係機関と調整し、実施した。（定期点検を除いたものを下記に掲載）

月/日	内容等
4/15、7/2、3/17	事務室・図書コーナーの蛍光灯修理（NTT管理）
4/28	事務室入口の警備器交換
5/27、3/25	展示窓側・児童コーナー側ブラインド取付け
8/23～27	入口庇修繕・清掃
10/5	玄関自動ドア開閉装置交換
12/3	雑誌コーナー上部の電球をLED電球に交換（3箇所）
2/10	給湯器交換工事（NTT管理）
3/18	空調機故障（後日調査あり）

2) 図書館運営

①新型コロナウイルス感染症予防対策

- ・手指消毒の徹底、マスク着用
- ・毎日2回の館内消毒、閲覧席の使用数・使用時間制限

②新型コロナウイルスワクチン集団接種業務対応（全職員） 5月～3月

③福島県沖震度6強地震（三春5弱）発生対応（3/16）

3) 資料整備

収集基準や廃棄基準等に沿って資料の収集、整備等に努めた。

資料収集、廃棄にかかる特記事項を下記に掲載。

・ 三春町に関する新聞記事の収集・整理

「平成29年分からの三春町民図書館新聞クリッピング事務要項」に沿って事務を実施。職員への情報提供も行った。

収集対象：三春町関連記事

製本方法：日付順（参考 製本冊数 40冊）

・ 資料廃棄

月/日	内容等
4/20～5/2	除籍本配布（カウンター前）
5/7～7/7	除籍本配布（桜ホール）
6/19, 20	古雑誌配布（カウンター前）： 6/23～桜ホールへ
7/8～8/3	除籍本配布（桜ホール）
8/4～9/1	寄贈本配布（桜ホール）
9/2～11/2	除籍本配布（桜ホール）
11/4～1/3	寄贈本配布（桜ホール）
1/4～3/1	除籍本配布（桜ホール）
3/4～4/5	寄贈本配布（桜ホール）

・ 役場「桜ホール」出張展示

郷土資料コーナー設置 三春町史（全11巻）配架

4) 運営及び利用状況のまとめ

①開館日数 285日

②入館者数 26,727人

③個人貸出人数 10,028人

後述の「4 三春町民図書館統計、利用状況」に詳細を掲載。

4 三春町民図書館統計、利用状況

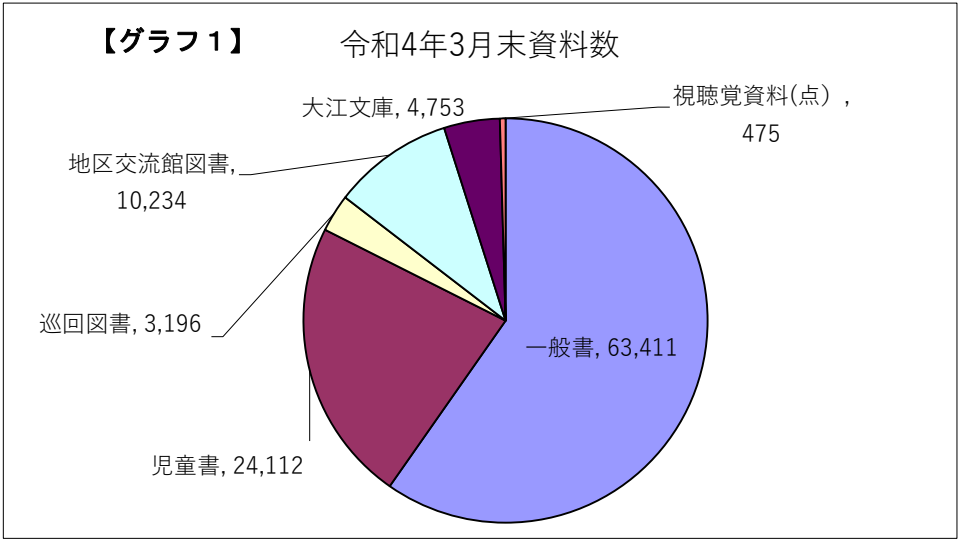
(1) 資料管理

【表 1】 令和4年3月末 図書館資料数

(単位：点)

分類		R3年 3月末 資料数	R3年度		R4年3月末	
			増加数	減少数	資料数	比率
図書資料	一般書	63,587	2,062	2,238	63,411	60.0%
	児童書	24,992	742	1,622	24,112	22.8%
	巡回図書	3,239	41	84	3,196	3.0%
	地区交流館図書	10,669	59	494	10,234	10.0%
	大江文庫	4,753	1	1	4,753	4.5%
	小計	107,240	2,905	4,439	105,706	100.0%
視聴覚資料(点)		453	23	1	475	
総計		107,693	2,928	4,440	106,181	

※ 「増加・減少数」欄は、購入や除籍のほかに場所変更分を含んだ数値です。



※一般書：63,411冊 59.7%、児童書：24,112冊 22.7%、その他：18,183冊 17.1%

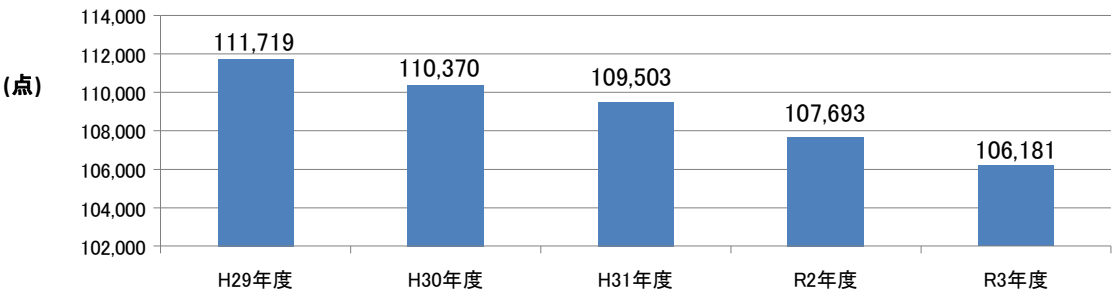
【表 2】 図書館資料数（含視聴覚資料）の推移

蔵書数の増加を抑えるために、資料としての価値を見極めながら除籍を進めています。

項 目	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
年度末資料数	111,719	110,370	109,503	107,693	106,181
年度中増減数	420	△ 1,349	△ 867	△ 1,810	△ 1,512

【グラフ2】

令和4年3月末 資料数



(2) 利用状況

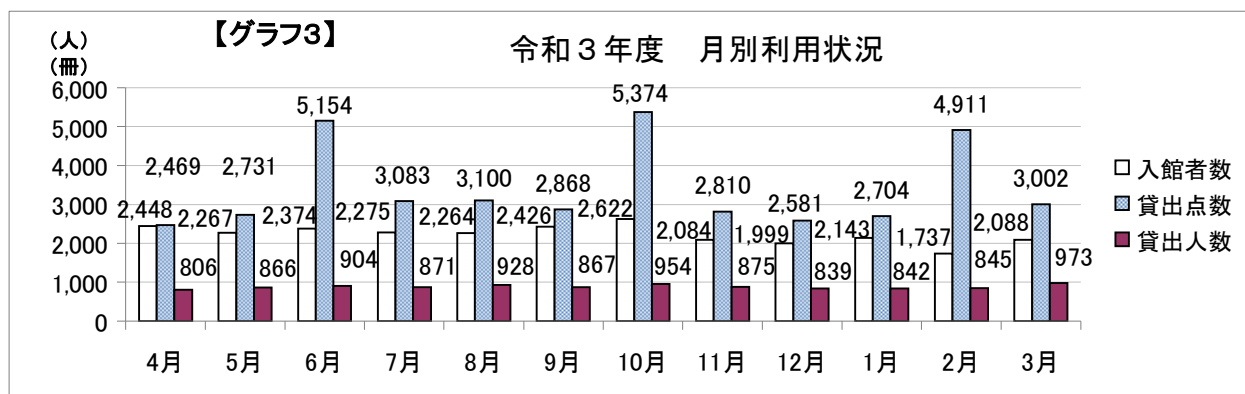
【表3】令和3年度 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開館日数(日)	24	24	25	24	24	24		
入館者数(人)	2,448	2,267	2,374	2,275	2,264	2,426		
貸出点数(点)	2,469	2,731	5,154	3,083	3,100	2,868		
内個人貸出	2,272	2,470	2,547	2,653	2,854	2,490		
貸出人数(人)	806	866	904	871	928	867		
内個人	778	831	829	832	901	820		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	個人貸出割合
開館日数(日)	25	23	23	24	21	24	285	
入館者数(人)	2,622	2,084	1,999	2,143	1,737	2,088	26,727	
貸出点数(点)	5,374	2,810	2,581	2,704	4,911	3,002	40,787	100.0%
内個人貸出	2,681	2,467	2,285	2,420	2,414	2,729	30,282	74.2%
貸出人数(人)	954	875	839	842	845	973	10,570	100.0%
内個人	892	813	795	798	800	939	10,028	94.9%

※貸出の資料区分の内訳比率:図書 92.6%、雑誌 6.1%、視聴覚 1.2%

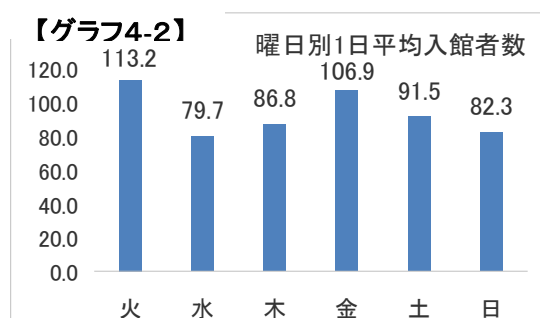
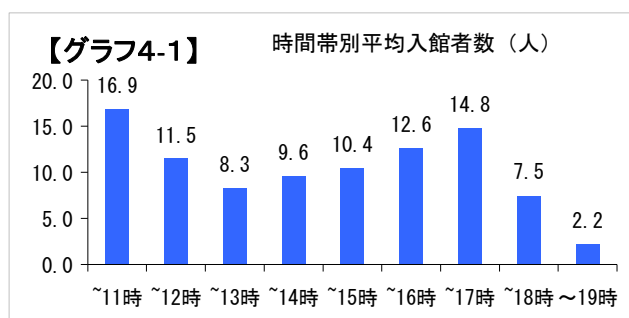
※入館者に対する個人貸出者の割合:約40%

※6・10・2月の貸出点数が多いのは、「巡回文庫」で貸出したためです。



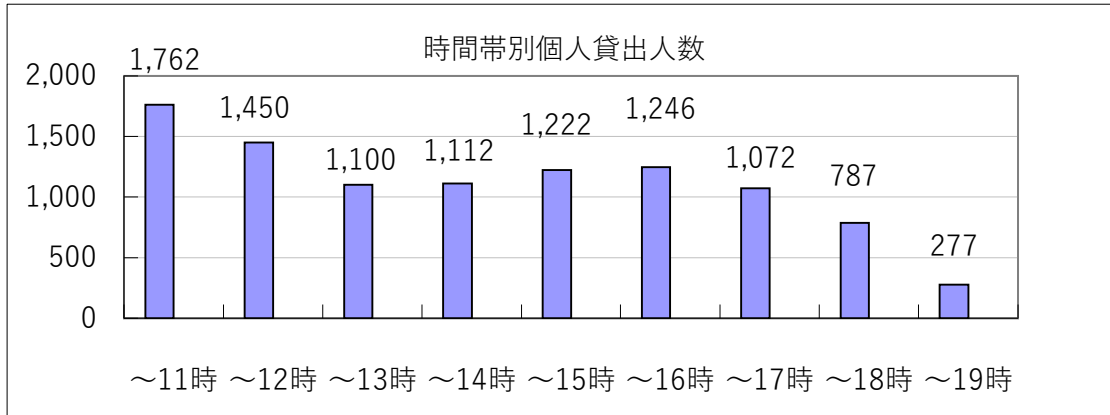
【表4】令和3年度 時間帯別・曜日別入館者数の状況

曜日	集計日数	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計	1日平均入館者数a
火	48	848	648	405	480	452	715	1,284	404	196	5,432	113.2
水	39	604	366	307	308	319	394	377	266	167	3,108	79.7
木	48	694	500	408	461	452	549	558	402	144	4,168	86.8
金	49	875	547	368	395	577	804	1,123	435	115	5,239	106.9
土	51	957	679	493	594	640	561	414	329		4,667	91.5
日	50	834	539	374	503	536	580	450	297		4,113	82.3
合計	285	4,812	3,279	2,355	2,741	2,976	3,603	4,206	2,133	622	26,727	93.8
1日平均入館者数a		16.9	11.5	8.3	9.6	10.4	12.6	14.8	7.5	2.2	93.8	



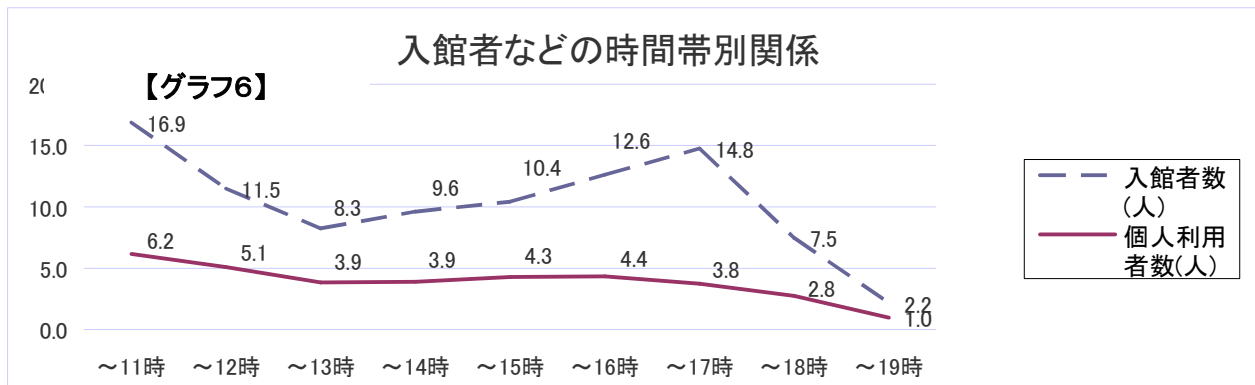
【表5】令和3年度 時間帯別個人貸出人数

時間	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計	開館日数
利用者数(人)	1,762	1,450	1,100	1,112	1,222	1,246	1,072	787	277	10,028	285日
平均(人)	6.2	5.1	3.9	3.9	4.3	4.4	3.8	2.8	1.0	35.2	
割合	17.6%	14.5%	11.0%	11.1%	12.2%	12.4%	10.7%	7.8%	2.8%	100.0%	



【表6】令和3年度 入館者数、個人利用者数の時間帯別関係（1日平均値）

項目	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	～19時	計
入館者数(人)	16.9	11.5	8.3	9.6	10.4	12.6	14.8	7.5	2.2	93.8
個人利用者数(人)	6.2	5.1	3.9	3.9	4.3	4.4	3.8	2.8	1.0	35.2

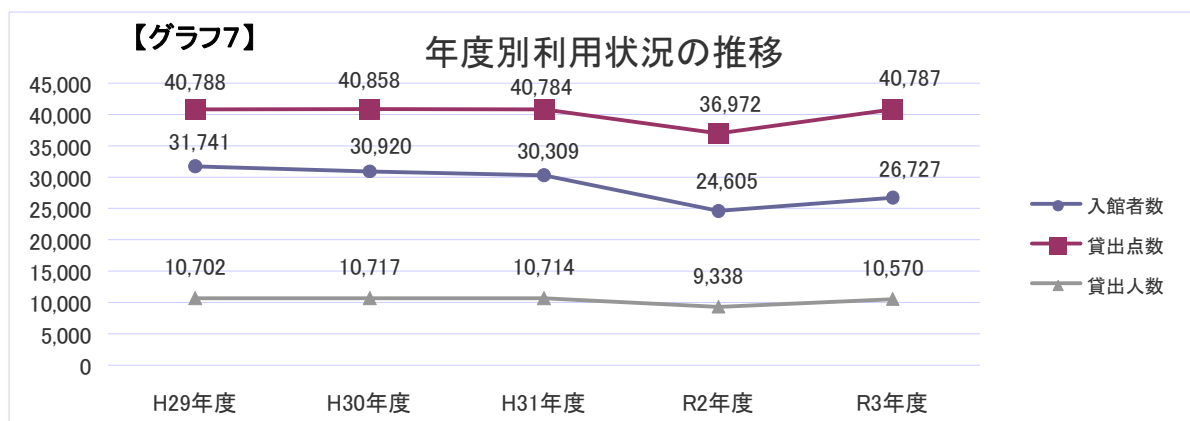


【表7】年度別利用状況の推移

項目	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
入館者数	31,741	30,920	30,309	24,605	26,727
貸出点数	40,788	40,858	40,784	36,972	40,787
個人	30,669	30,806	31,275	27,307	30,282
貸出人数	10,702	10,717	10,714	9,338	10,570
個人	10,250	10,271	10,305	8,965	10,028
開館日数	281	286	283	266	285

1日当たりに換算

入館者数	113	108	107	93	94
貸出点数	145	143	144	139	143
個人	109	108	111	103	106
貸出人数	38	37	38	35	37
個人	36	36	36	34	35



(3) 図書館運営状況

【表 8】 利用者状況（1年以内に利用した人数）

年齢別

(単位：人)

性別	年齢（歳）												合計
	～ 6	7～ ～9	10～ ～12	13～ ～15	16～ ～18	19～ ～22	23～ ～29	30～ ～39	40～ ～49	50～ ～59	60～ ～69	70～ ～	
男	29	26	17	8	5	6	8	25	26	26	70	83	329
女	29	41	27	14	18	9	16	93	89	96	113	122	667
計	58	67	44	22	23	15	24	118	115	122	183	205	996

地区別

(単位：人)

地区名	旧町							沢石	要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	合計
	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台							
個人	45	26	64	56	36	97	147	29	49	116	134	43	91	933
団体	14	0	0	6	0	2	5	7	3	3	6	7	13	66

【表 9】 予約件数推移

(単位：点)

年度	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	合計	対前年度比
H31年度	213	21	31	0	265	90.8%
R2年度	245	14	26	1	286	107.9%
R3年度	297	20	26	0	343	119.9%

【表 10】 リクエスト対応件数推移

(単位：冊)

年度	購入	相互借受	合計	対前年度比	相互貸出
H31年度	199	91	290	88.1%	29
R2年度	217	82	299	103.1%	11
R3年度	212	69	281	94.0%	24

【表 11】 他図書館との相互貸借の推移

年度	貸 出									
	県内		県外				その他		計	
			(北日本)		(左以外)					
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
H31年度	22	28	1	1	0	0	0	0	23	29
R2年度	10	10	1	1	0	0	0	0	11	11
R3年度	20	21	3	3	0	0	0	0	23	24

年度	借 受											
	県内		県立 図書館		県外				その他		計	
					(北日本)		(左以外)					
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
H31年度	21	22	22	51	9	9	4	4	3	5	59	91
R2年度	19	30	21	45	5	7	0	0	0	0	45	82
R3年度	28	39	15	27	2	3	0	0	0	0	45	69

【表 1 2】 レファレンス受付件数

(単位：件)

年度	所蔵案内	対前年度比	調査相談	対前年度比	合計	対前年度比
H31年度	1,046	119.5%	47	85.5%	1,093	117.5%
R2年度	951	90.9%	52	110.6%	1,003	91.8%
R3年度	1,060	111.5%	29	55.8%	1,089	108.6%

※用語説明

レファレンス(reference service)：図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

【表 1 3】 インターネット用PC利用申込数 (単位：件)

年度	小中高生	一般	合計	対前年度比
H31年度	1	39	40	69.0%
R2年度	3	11	14	35.0%
R3年度	0	7	7	50.0%

(4) 地区交流館図書室の図書貸出状況

地区交流館名 利用階層 年度		沢石会館		御木沢地区公民館		岩江センター		中妻地区公民館		中郷地区交流館		合計	
		中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人	中学生まで	大人
H29年度	利用者(人)	0	5	26	6	285	43	27	7	33	2	371	63
	貸出数(冊)	0	10	4	0	810	80	71	17	64	3	949	110
H30年度	利用者(人)	0	0	0	0	259	62	0	0	21	1	280	63
	貸出数(冊)	0	0	0	0	785	117	0	0	67	2	852	119
H31年度	利用者(人)	0	1	1	0	158	36	2	0	0	0	161	37
	貸出数(冊)	0	1	2	0	398	53	2	0	0	0	402	54
R2年度	利用者(人)	0	0	2	1	427	2	1	21	0	0	430	24
	貸出数(冊)	0	0	4	2	1,185	2	1	21	0	0	1,190	25
R3年度	利用者(人)	5	1	0	0	685	14	0	28	0	0	690	43
	貸出数(冊)	10	1	0	0	1,803	26	0	28	0	0	1,813	55

※御木沢地区は平成29年度は閲覧利用者数も計上。

その他の地区は貸出者数・冊数を計上。

※平成31年度は、令和元年度に読み替える。(5月1日から令和元年)

児童生活センター

令和3年度重点施策の進捗状況

1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取り組み

(1) 児童クラブ運営事業

放課後留守家庭となる児童が過ごす居場所として、三春小学校西校舎1階でわんぱくクラブ、岩江センターで岩江児童クラブ、御木沢小学校体育館で御木沢児童クラブの放課後児童クラブを3カ所で運営した。

今年度も新型コロナウイルス感染状況から、地域交流事業や料理教室など一部の事業を中止せざるを得なかったが、昨年中止となった親子行事や制作活動など、感染予防に努め、工夫しながら実施した。

(2) まほらっこ教室運営事業

放課後の児童の安心・安全な居場所として小学校の空き教室や体育館又は地区の公民館を利用して地域のボランティアの方々の協力をいただき、全小学校区でまほらっこ教室を運営した。

また、児童クラブのない地域では、延長・長期休業中教室を実施した。毎年夏休み教室を開催し、異学年交流や地域間交流を行っているが、新型コロナウイルスの感染状況から中止せざるを得なかった。夏休み教室は中止となったが、感染防止対策を行い、活動が制限される中ではあるが、各教室とも工夫しながら、異学年交流を行った。

(3) 次年度運営に向けた取り組み

児童クラブにおいては、入所児童数が増加傾向にあり、定員を超えての受け入れとなっていることから、今後の運営について、活動場所の確保や定員の見直し等検討を行った。わんぱくクラブにおいては定員を増やすために、2支援単位から3支援単位とし、そのための職員体制の準備や必要な物品の購入等を行った。それに伴い、まほらっこ三春教室は、三春小学校西校舎2階へ移転して活動することとし、必要な教室の改修工事（網戸取付・タイルカーペット敷設）を行った。

1 運営方針

- (1) 異年齢集団など、仲間との人間関係を広げる。
- (2) 子どもの自主的・自治的活動体験を豊かにする。
- (3) 地域の関係団体や地域住民との交流を図る。

2 職員(令和4年3月現在)

所長1人、主任主査(再任用)2人、主査2人、会計年度任用職員25人

計30人(内 放課後児童支援員(有資格者) 20人)

まほらっこ教室コーディネーター2人、ボランティア37人

3 令和3年度事業

(1) 放課後子ども総合プランの推進

放課後の安全・安心な居場所づくりをさらにより良いものとするため、放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を開催し、各委員から質問、意見等をいただいた。

①放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員

(任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

委員長 吉川 久三	副委員長 猪狩 仁	鈴木 伸一	佐久間 務
伊藤 茂	安齊 純代	渡辺 勝	宗像 以知子
大内 健一	篠原 晶子	小山 博	宗像 幸子

②放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会開催状況

会議名	人数	開催日	内 容	場 所
第1回委員会	12名	6月24日	・委嘱状交付・正副委員長選出 ・放課後子ども総合プラン推進事業の概要について	三春交流館 「まほら」 ホワイエ
第2回委員会	11名	11月17日	・事業中間報告 ・次年度の運営について ・今後の取り組み方針について	三春交流館 「まほら」 ホワイエ
第3回委員会		3月10日 (書面開催)	・児童クラブの現況について ・まほらっこ教室の現況について ・令和4年度の運営について	

(2) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

①実施状況

(令和4年3月末現在)

クラブ名	定員	4月 児童数	3月 児童数	職員数	実施場所 開設日	開設日数
わんぱくクラブ	70名	73名	70名	11名	三春小学校西校舎1階 月～金・第3～第5土曜日	年間 266日
岩江児童クラブ	60名	77名	73名	8名	岩江センター 月～金・第2土曜日	年間 249日
御木沢児童クラブ	30名	30名	31名	4名	御木沢小学校体育館 月～金・第1土曜日	年間 253日

②令和3年度岩江児童クラブの長期・延長利用状況

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常利用 (8:30～18:00)	77	77	77	77	77	77	77	77	76	76	75	73	916
長期利用 (7:30～18:30)	34			41	41				36	33		35	220
延長利用 (18:30まで)	10	15	15	14		15	14	12	14	11	11	11	142
利用合計 (のべ)	121	92	92	132	118	92	91	89	126	120	86	119	1,278

※「長期利用」「延長利用」については、「通常利用」の内数

※8月の延長利用分は9月に含まれている。

③児童クラブ運営

総事業費	61,532,133 円
収 入	【補助金】 子ども・子育て支援交付金 (国 1/3) 18,665,000 円 (内 57,000 円は返還予定) 子ども・子育て支援交付金 (県 1/3) 18,608,000 円 【保護者負担金】 保護者協力金 2,857,000 円 スポーツ安全保険料 144,800 円
主な支出内容	【放課後子ども環境整備事業】 ○児童生活センター (わんぱくクラブ) 修繕料 82,500 円 (外灯修繕) 工事費 684,200 円 (事務室・クラブ室棚増設、網戸取付) 備品購入費 1,465,250 円 (ジョイントクッション、児童用テーブル、加湿空気清浄機、収納ボックス等) ○岩江児童クラブ 備品購入費 295,790 円 (ジョイントクッション、児童用テーブル、飛沫防止用パーテーション) 【保護者会補助金】 補助金 240,000 円 (わんぱくクラブ、岩江児童クラブ、御木沢児童クラブ)

④安全対策 (避難訓練)

クラブ名	月 日	想 定	内 容
わんぱくクラブ	6月24日	地震	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
	11月5日	火災	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
岩江児童クラブ	6月18日	火災	避難時の注意事項説明、岩江小校庭へ避難
	9月17日	地震 火災	避難時の注意事項説明、岩江小駐車場へ避難
御木沢児童クラブ	6月1日	地震	避難時の注意事項説明、御木沢小校庭へ避難
	10月21日	火災	避難時の注意事項説明、御木沢小校庭へ避難

⑤今年度の主な実施事業

ア 各クラブ年間季節行事

◎すべての児童クラブにおいて毎月けん玉検定を実施

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
4月	入所式 (7 日) 所内外探検 (7 日) 母の日プレゼント制作(デコミ ラー・メッセージカード)	入所式 (7 日) 母の日プレゼント制作(マスク ケース、メッセージカード)	入所式 (7 日) お花見 (9 日) 危険箇所確認 (14 日) 母の日プレゼント制作(フラワ ーボックス・メッセージカー ド)
5月	父の日プレゼント制作(インテ リアキースタンド・メッセージ カード)	父の日プレゼント制作(マスク ケース、メッセージカード) お買い物ごっこ (17 日)	父の日プレゼント制作(キラキ ラコースター・メッセージカー ド) ゲーム遊び (17 日)
6月	避難訓練 (24 日) 七夕飾り制作・飾り付け	避難訓練 (18 日) 七夕飾り制作・飾り付け	避難訓練 (1 日) 七夕飾り制作・飾り付け
7月	七夕集会 (7 日) 親子行事・バルーンアート教室 (24 日: 児童 35 名、保護者 32 名) スーパーボール作り (28 日)	おはなし会「紙芝居・歌あそび」 (20 日) スイスイおやつ (30 日)	親子行事・御木ンピック (25 日: 児童 27 名、保護者等 38 名)
8月	風鈴制作 (4 日) スライム作り (23 日) 敬老の日プレゼント制作(ティ ッシュケースと花束カード)	縁日 (12 日)	リアル人生ゲーム (4 日) 折り紙と切り紙の制作 (19 日)
9月	敬老園へのプレゼント制作(小 物立て、メッセージカード) けん玉週間	避難訓練 (17 日) 敬老の日プレゼント制作(木工 細工、メッセージカード)	敬老の日プレゼント制作(匂い 袋・メッセージカード)
10月	ハロウィン制作・撮影会 チューリップの球根植え (18 日) 干支張子の絵付け	岩江文化祭用作品制作(木工細 工) 親子行事・陶芸教室 (16 日: 児童 47 名、保護者 36 名) ハロウィン制作・パーティー (25 日)	避難訓練 (21 日) ハロウィン制作
11月	避難訓練 (5 日) クリスマスリース制作 マイバック制作・体を動かそう (29 日)	干支張子の絵付け	チューリップの球根植え (11 日) 干支張子の絵付け
12月	お楽しみ抽選会 (8 日)	お楽しみ会 (24 日)	クリスマスお楽しみ会 (23 日)
1月	ミニオンボウリング大会(6 日) ベーゴマ教室 節分制作	初詣(直毘神社) (5 日) 団子さし (8 日) 節分制作	初詣(八雲神社) (5 日) ベーゴマ教室 スクラッチアート 節分制作
2月	ひなまつり制作 ビンゴ大会 (18 日)		節分集会 (3 日) ひなまつり制作
3月	キーホルダー作り 終了式 (19 日)	終了式 (24 日)	終了制作 終了式 (23 日)

イ 地域に拓く活動（土曜・長期休業など）

児童生活センター事業として、関係団体や地域住民との交流を図り、異年齢集団における仲間との人間的関わりを広げる事業として、地域に拓く活動を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染症のため、実施を見合わせたものもあり、実施回数は計画より減っている。

第1土曜日は御木沢児童クラブ、第2土曜日は岩江児童クラブ、第3～第5土曜日はわんぱくクラブを開所し、通常預かりや自由参加による下記事業を実施した。

事業名	実施日		実施内容	人数
◎体育館で遊ぼう (御木沢児童クラブ) ※体育館で体を動かして遊ぶ。	第1土曜日 (自由参加)	5月1日	新聞紙の玉入れ	8名
		7月3日	風船バレーボール	7名
		8月7日	ひっくり返しゲーム	7名
		9月4日	ゴム跳び	3名
		10月2日	どぼん	4名
◎料理教室 (岩江児童クラブ) ※作る過程、食べる楽しさ、食物の大切さを学ぶ。	第2土曜日 (自由参加)	7月10日	ビッグパフェ	8名
		12月11日	スイートポテトではりねずみを作ろう	5名
◎ボランティア活動 (わんぱくクラブ) ※活動を通し奉仕の心を育てる。	第3土曜日 (自由参加)	1月15日	ボランティアへのプレゼント制作	6名
◎ミニシアター (わんぱくクラブ) ※昔話などの読み聞かせや映画・ビデオ上映により豊かな心を育む。	第3土曜日 (自由参加)	6月19日	絵本3、紙芝居1、DVD2	10名
		9月18日	絵本3、紙芝居1、DVD2	8名
		1月15日	絵本3、紙芝居1、DVD1	7名
◎おりがみ教室 (わんぱくクラブ) ※各種の折り紙に挑戦し、想像力を養う。	第3土曜日 第4土曜日 第5土曜日 (自由参加)	7月17日	こまを作って遊ぼう	7名
		8月28日	お弁当を作って出かけよう	6名
		10月30日	生活に役立つ道具を作ろう	6名
		2月19日	はらぺこあおむしを作ろう	5名
◎理科クラブ (わんぱくクラブ) ※自然観察ステーション事業へ参加し研究心を育む。	第3土曜日 第4土曜日 (自由参加)	6月26日	草木染め	19名
		10月23日	竹で作るおもちゃ	16名
		12月18日	カラーキャンドル作り	17名

⑥放課後児童支援員認定資格研修等（オンライン研修）

研修名	人数	受講日	内 容
放課後児童支援員認定資格研修	2名	11月26日 12月8日・9日・21日	・放課後児童支援員として必要な知識・技能を習得する。 ・実践する際の基本的な考え方や心得を認識する。
放課後児童支援員等資質向上研修 (初任者研修)	1名	11月29日・30日	・経験年数が1年以上5年未満の放課後児童クラブに従事する職員の資質向上を図る。 ・子どもの遊びや生活の環境と理解等について学ぶ。
	1名	12月15日・16日	
放課後児童支援員等資質向上研修 (中堅者研修)	2名	2月21日・22日	・経験年数が5年以上の放課後児童クラブに従事する職員の資質向上を図る。 ・事故やけがの防止と発生時の対応等について学ぶ。

(2) 放課後子ども教室推進事業（放課後子ども教室）

全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようまほらっこ教室を開設し、児童クラブのない地域では、延長教室・長期休業中教室を実施した。

①実施状況

(令和4年3月末現在)

教室名	区分	小学校区	登録児童数	指導員等	開設日	開設日数
三春教室	通 常	三春小学校西校舎1階	41名	8名	月曜～金曜	179日
岩江教室	通 常	岩江小学校体育館	57名	7名	月曜～金曜	152日
御木沢教室	通 常	御木沢小学校音楽室	20名	6名	月曜～木曜	111日
中妻教室	通 常	中妻地区公民館	43名	6名	月曜～金曜	200日
	(延長)		37名	2名※1		200日
	(長期)		35名			30日
中郷教室	通 常	中郷地区交流館	47名	7名	月曜～木曜	154日
	(延長)		40名	2名※1	月曜～金曜	200日
	(長期)		33名		30日	
沢石教室	通 常	旧沢石地区福祉館	42名	3名	火曜～木曜	142日
	(延長)		42名	3名※1	月曜～金曜	200日
	(長期)		40名			30日
小 計	通常教室		250名	37名		平均156日
	(延長教室)		119名	7名※1		平均200日
	(長期教室)		108名			平均30日
合 計			250名	44名		

※1 会計年度任用職員

②まほらっこ教室運営

総事業費	20,169,377 円		
収入	【保護者負担金】 スポーツ安全保険料 199,200 円		
	【補助金】 地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）（県 10/10） 8,339,554 円 ※報酬費等除く		
主な支出内容	【運営関係】 まほらっこ教室ボランティア報償費 7,750,800 円 放課後子ども総合プラン推進事業運営委員報償費 63,000 円 施設等修繕費（まほらっこ中妻教室玄関扉ガラス修繕等） 61,050 円 工事費（まほらっこ三春教室改修工事） 415,800 円		

③まほらっこ教室活動事業

ア まほらっこ教室訪問

○英語教育助手の教室訪問

各まほらっこ教室へ英語教育助手が月1回から2回訪問し、ボール遊びやゲームをしたり異文化交流を行っているが、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問はなかった。

○県中教育事務所による教室訪問

県の地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）の推進を図るため、まほらっこ教室の訪問が実施された。

教室名	実施日	内容	参加者	場所
まほらっこ三春教室	7月6日	・子ども教室運営及び活動内容について意見交換 ・子ども教室参観	県中教育事務所社会教育主事2名・所長・担当・コーディネーター1名・指導員4名	三春小学校西校舎1階

イ まほらっこ教室安全管理員・活動指導員・会計年度任用職員訓練・研修等

事業名	参加人数	実施日	内容	場所
安全管理員・活動指導員等事前打合せ	43名	4月2日～4月13日	・委嘱状交付 ・各教室事前打合せ	各教室
避難訓練（地震想定）	170名	6月7日～6月24日	・施設内での身の安全の確保法講習 ・避難訓練（児童も一緒に実施）	各教室
避難訓練（火災想定）	178名	11月5日～11月24日	・避難時の注意事項説明 ※三春教室はわんぱくクラブと合同実施	
放課後グローアップ研修「多様な子ども達への理解と放課後づくり」	5名	9月10日	・支援を要する児童への対応について、理解を深める ・高学年がいきいきと過ごせる放課後の過ごし方について	オンライン研修（zoom）
家庭教育応援リーダー育成事業「県中域内家庭教育支援者研修会」	3名	12月4日	「ペアレント・トレーニング」を学ぶ講師 郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円 氏 他	郡山市労働福祉会館
「見守りサポーター養成事業」子どもへの虐待防止プログラム	6名	1月23日	・大人が子どもたちを守るために何ができるのかについて	三春交流館「まほら」小ホール
放課後児童支援員等資質向上研修（専門研修）	3名	2月2日～2月24日	・放課後子供教室に係わる指導員等の資質向上を図る。 ・子どもの遊びや配慮を必要とする子供への対応について学ぶ。	オンライン研修（zoom）

※コーディネーター・安全管理員・活動指導員・会計年度任用職員合同打合せを随時実施